

平成 21 年度 河川レンジャー活動経過報告

平成 22 年 2 月

伏見管内河川レンジャー

坂本 清
中川 雄介
望月 斐加

桂川管内河川レンジャー

中村 桂子
田子 稔
柳沼 宣裕

山崎(京都府域)管内河川レンジャー

仁枝 洋

目 次

1. 坂本レンジャー活動実施報告・平成 21 年 8 月 2 日(日)	1
2. 坂本レンジャー活動実施報告・平成 21 年 9 月 13 日(日)	6
3. 坂本レンジャー活動実施報告・平成 22 年 2 月 6 日(土)	11
4. 中川レンジャー活動実施報告・平成 21 年 5 月～(全 20 回実施予定)	15
5. 望月レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 5 日(日)	22
6. 望月レンジャー活動実施報告・平成 21 年 6 月 20 日(土)	27
7. 望月レンジャー活動実施報告・平成 21 年 11 月 28 日(土)	31
8. 中村レンジャー活動実施報告・平成 21 年 5 月～(7 回実施)	35
9. 中村レンジャー活動実施報告・平成 21 年 8 月 4 日(火)	42
10. 中村レンジャー活動実施報告・平成 21 年 9 月 12 日(土)	45
11. 田子レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 26 日(日)	49
12. 田子レンジャー活動実施報告・平成 21 年 6 月 28 日(日)	54
13. 田子レンジャー活動実施報告・平成 21 年 10 月 4 日(日)	59
14. 田子レンジャー活動実施報告・平成 21 年 12 月 23 日(水祝)	63
15. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成 21 年 8 月 23 日(日)	68
16. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成 21 年 9 月 1 日(火)～9 月 8 日(火)	72
17. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成 21 年 12 月 12 日(土)	77
18. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成 22 年 1 月 17 日(土)	81
19. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成 22 年 1 月 28 日(木)	86
20. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日	99
21. 仁枝レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 26 日(日)	104
22. 仁枝レンジャー活動実施報告・平成 21 年 5 月 31 日(日)	109
23. 仁枝レンジャー活動実施報告・平成 21 年 10 月 11 日(日)	114
24. 仁枝レンジャー活動実施報告・平成 21 年 10 月 17 日(土)	119
25. 仁枝レンジャー活動実施報告・平成 21 年 11 月 7 日(土)	124


1. 坂本レンジャー活動実施報告・平成 21 年 8 月 2 日(日)

1.1 実施状況

<テーマ:第 1 回宇治川自然観察会>

テ ー マ	「数万羽のツバメのねぐらを知っていますか?」			
担 当	伏見出張所管内	坂本レンジャー		
開催日時	平成 21 年 8 月 2 日(日) 15:40 ~ 19:15			
参加人数	参加総数	104 名		
	児童 学校関係者(校長・教職員) 河川レンジャー 講師 協力スタッフ 伏見出張所 運営事務局	85 名 2 名 1 名 2 名 12 名 1 名 1 名	大人 49 名、小人 36 名 坂本レンジャー シニア自然大学野鳥科 京とおうみ自然文化クラブ	
スケジュール	15:40 16:00 17:05 17:10 17:45 18:25 18:35 19:15	スタッフ集合 [観月橋、現地に分かれて集合。] 受付、観察用具等の準備 受付開始(順次電車の到着と同時に受付) 一定の参加者を受付次第スタッフの誘導で現地へ 開会(坂本レンジャー挨拶) ・スケジュール、河川レンジャーについて説明 ・スタッフ紹介 ツバメについてのお話 自然材を使った工作 観察場所へ移動 観察場所へ到着。ツバメのねぐら入り観察 終了 スタッフの誘導で観月橋駅へ 解散		
実施場所				

1.2 事前活動

各種資料	
関係機関からの支援内容	<p>京とおうみ自然文化クラブ スタッフ協力</p> <p>淀川河川事務所 チラシの印刷 参加者の受付 必要物品の貸与 配布資料の提供</p>
レンジャーの活動内容	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容の決定 スタッフとの打合せ</p> <p>参加の案内 京都新聞への掲載依頼 近隣小学校への参加案内</p> <p>必要物品の準備 各関係機関へ貸与依頼</p> <p>関係機関との調整 伏見出張所、中央流域センターとの事前打合せ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会、進行 ツバメについての説明、工作の指導 参加者との交流</p>

1.3 活動状況



スタッフ集合・観月橋駅改札前



参加者受付



開会 坂本レンジャー挨拶とお話



スタッフ紹介



ツバメのお話



自然材を使った工作(野鳥のブローチ)





工作が終わった参加者へ資料・アンケート配布



スタッフ誘導で観察場所へ移動



ツバメのねぐら入りの観察



葭原に集まってきたツバメたち




1.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>ツバメがいつせいにきて、ヨシ原に入る所がすごかった。 ツバメは南の国まで、日本からとんでいくことがすごいと思った。(9才)</p> <p>観察会は初めてです。よかったです。地球は人間だけが存在するのではないと しみじみ思いました。(58才女性)</p> <p>初めて参加しましたが、係の方々の対応が親切でいねいで安心して活動できまし た。ツバメについて初めて分かったことが多くこれからのツバメの見方が違ってき そうです。ツバメがねぐらに帰ってくる様子は感動的です。次回も楽しみです。 (58才女性)</p> <p>ツバメが思ったより多かったのでびっくりしました。お話がおもしろかったです。 (9才)</p> <p>とても楽しい観察会でした。いつも見ているツバメですが知らないことばかりでし た。いろいろなお話を伺い、人間との大きな関わりを知り便利な生活の犠牲にしな いよう自然を守ることに気を配らないといけないと感じました。(35才女性)</p>
今後の課題	<p>観察会開催が天候に左右されるため本年のように順延になったときの会員への連絡 がむずかしい。</p> <p>観察会が定着してきたのか、何回目かの参加者も見られたが次回の開催日時を多く の人に知ってもらう方法がない。</p>

2. 坂本レンジャー活動実施報告・平成 21 年 9 月 13 日(日)

2.1 実施状況

< テーマ: 第 2 回宇治川自然観察会 >

テ ー マ	水の中には何がいる?水の中の観察と自然工作をしよう		
担 当	伏見出張所管内	坂本レンジャー	
開催日時	平成 21 年 9 月 13 日(日) 9:00 ~ 13:30 当初 9/12 予定。雨天のためこの日に順延。		
参加人数	参加総数	52 名	
	一般参加者 河川レンジャー 講師 協力スタッフ 伏見出張所 運営事務局	33 名 1 名 2 名 14 名 1 名 1 名	(大人 17 名、小人 16 名) シニア自然大学水生生物科 京とおうみ自然文化クラブ
スケジュール	<p>9:00 京阪宇治駅スタッフ集合 スタッフ受付開始 レンジャーは現地へ向かい観察の準備</p> <p>10:00 参加者集合・バスで移動 現場(アクトパル宇治)到着</p> <p>10:40 開会 坂本レンジャーより挨拶とレンジャーについてのお話 活動の説明 スタッフ、講師の紹介</p> <p>10:50 川の観察開始(魚、生物採取)</p> <p>11:50 終了 着替え</p> <p>12:00 講師による採取した魚・生物の解説</p> <p>12:30 昼食</p> <p>13:30 自然工作(トンボ・お花のブローチ作り)</p> <p>14:25 閉会の挨拶 マイクロバスで宇治駅まで移動後、解散</p>		
実施場所			

2.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>京とおうみ自然文化クラブ スタッフ協力</p> <p>淀川河川事務所 チラシの印刷 参加者の受付 必要物品の貸与 配布資料の印刷</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容の決定 スタッフとの打合せ</p> <p>参加の案内 京都新聞への掲載依頼 近隣小学校への参加案内</p> <p>必要物品の準備 各関係機関へ貸与依頼</p> <p>関係機関との調整 伏見出張所、中央流域センターとの事前打合せ</p> <p>活動の実施 参加者へ順延の電話連絡 開会、閉会の挨拶 司会、進行 観察の指導、解説 参加者との交流</p>

2.3 活動状況



京阪宇治駅での受付の様子



現地(アクトパル宇治)到着・開会



レンジャーより開会の挨拶と講師、スタッフの紹介



観察(生き物とり)開始



たも網等を使った生き物とりの様子



観察終了・採れた生き物を水槽へ



講師による採れた生き物の解説



自然工作の様子



木片などの自然素材を使ってお花とトンボのブローチを制作



閉会

2.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>とった魚の説明もしてくれて良かったです。たくさんの自然のことが知れて楽しかったです。工作も親が没頭するくらいでした。(36才女性)</p> <p>川で生き物を取り、陸でも虫を取り、子どもも大人もワクワクしました。先生による取った虫の話すごく興味がわきました。知らないことがたくさんありました。(33才女性)</p> <p>魚やカニがいっぱい取れて楽しかった。(8才)</p> <p>川の観察会も自然工作もとても楽しかったです。子どもも大人も楽しめる内容だったと思います。川遊びだけでなくクラフトも用意してくれるので家族でゆっくり楽しむことができました。また参加したいです。(40才男性)</p>
今後の課題	<p>参加者の申込みは約60人だったけれど、雨で順延となったため半数近くになった。残念だったが...</p> <p>宇治川本川では安全上この活動はできない。支川だと場所作り(草刈りなど)が大変。大変な場所だからいろいろな水生生物がいるのだけど</p>



3. 坂本レンジャー活動実施報告・平成 22 年 2 月 6 日(土)

3.1 実施状況

<テーマ:身近な野鳥を観察し、河川の自然について関心を持とう。>

テ ー マ	第三回 宇治川自然観察会「宇治川野鳥観察会」		
担 当	伏見出張所管内	河川レンジャー 坂本レンジャー	
開催日時	平成 22 年 2 月 6 日(土) 9:30~14:00		
参加人数	参加総数	34 名	
	一般参加者 河川レンジャー 講師 協力スタッフ 伏見出張所 運営事務局 取材	18 名 1 名 4 名 8 名 1 名 2 名 2 名	大人 9 名、小人 9 名 坂本レンジャー NPO シニア自然大学(京とおうみ自然文化クラブ) 京都新聞、洛南タイムス
スケジュール	9:30	京阪宇治駅スタッフ集合 一般参加者受付開始	観察用具等の準備
	10:10	宇治川河川敷に移動	
	10:15	坂本レンジャー開会の挨拶 佐々木講師による注意事項、観察用具の説明	
	10:25	グループごとに別れて観察会開始	
	11:10	野鳥観察終了	
	11:15	河川敷の清掃活動実施	
	11:30	宇治橋にて野鳥観察	
	12:00	宇治市民会館にて昼休憩	
	12:30	辻・宮講師による鳥合わせ	
	12:50	塚田講師による自然工作	
	13:25	自然工作終了 片付け	
	13:30	坂本レンジャー挨拶	
	13:55	現地解散	
実施場所	 <p>活動場所: 宇治川河川敷(右岸)~宇治橋</p> <p>宇治市民会館</p>		

3.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">野鳥の下敷き 鳥合わせ・アンケート</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>京とおうみ自然文化クラブ(スタッフ) スタッフ協力 観察のための必要物資(双眼鏡、野鳥図鑑など)の提供</p> <p>NPO 法人シニア自然大学野鳥科(講師) 観察指導・野鳥の解説 鳥あわせ</p> <p>淀川河川事務所 チラシの印刷・借用物品の手配と返却 手紙の配布 参加者の受付</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容の決定、下見(4回) スタッフとの打合せ</p> <p>参加の案内 前回参加者への手紙 京都新聞、洛南タイムス、リビングなどの記事掲載依頼。</p> <p>必要物品の準備 各関係機関へ貸与依頼</p> <p>関係機関との調整 伏見出張所、中央流域センターとの事前打合せ 宇治市役所への依頼。</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会、進行 参加者との交流 関係者との打合せ及び調整</p>

3.3 活動状況



駅前での受付の様子



宇治川河川敷にて坂本レンジャーによる挨拶



野鳥観察風景



グループごとに別れて上流に移動しながら観察



河川敷周辺のゴミ拾い



宇治橋でキンクロハジロ・オナガガモを観察



宇治市民会館にて辻・宮講師による鳥合わせ



自然工作作業風景

3.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私は水鳥の観察がおもしろかったです。いろいろな鳥のこと教えてもらってうれしかったです。水鳥がいっぱいいたので、よかったです。(小4) ・普段、あまり意識して鳥を観察したことがなかったのですが、宇治川にこんなにいろいろな種類の鳥がいることを知り、ほんとうにびっくりしました。めずらしい鳥も見れてうれしかったです。寒かったけれど楽しかったです。(20代 女性) ・いろいろな鳥がいて、見分け方など教えてもらいとても勉強になりました。普段から宇治川近くに生活していますが、こんなにたくさんの鳥がいるとは知りませんでした。ほんとうに楽しかったです。また、自然のものである工作は、においも自然で癒されました。ありがとうございました。 ・いろいろな鳥が見れてうれしかった。(小3 女子) ・多種類の水鳥がどれもつややかで美しかったです。ゴミが予想以上に多かったのがショックでした。(40代 女性) ・「イカルチドリ」がとてもかわいかったです。鳥はあんまりいないと思っていたけど、いっぱいいたのでびっくりしました。また、行きたいです。(小4 女子) ・いつも宇治に来ていますが、イワツバメやイカルチドリなどが宇治橋のすぐ近くで見れるとは、教えてもらえなければわからなかったです。工作は去年もさせていただきましたが大好きで今回も楽しみにしていました。次回もまた必ず参加したいです。(50代 女性) ・遅れてきたので、本当の鳥には会えなかったのですが、午後から参加できました。こんな近くに、そんなにたくさんの鳥たちが一ヶ所に集まってくるのだな・・・と感心致しました。電車や工事のためガチャガチャやかましく音がしている所でも、鳥たちにとって、気に入って、いごこちがいい場所なんですね。私の知らないことを教えてもらって、宇治という良い場所に住まわせてもらっているということに、あらためて感謝させてもらった一日でした。(60代 女性)
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の野鳥観察は、寒いのはあたりまえである。しかし、冬の観察のおもしろさや楽しさを知らない人にとっては、この寒いのになんでーということになってしまうのか、やはり、参加者が少ない。 ・最近、今まで掲載してもらっていた広告誌?などが、掲載してくれなくなってきている。景気の悪さが影響しているのかもしれない。 ・参加者は喜んでもらえているのだから、その人たちから広めてもらえる工夫をしていかなければならない。 ・工事などについては、もっと早くチェックしておくべきであった。

4. 中川レンジャー活動実施報告・平成21年5月～(全20回実施予定)

4.1 実施状況

<テーマ:京都伏見ジュニア河川レンジャー>

テーマ	京都伏見ジュニア河川レンジャー(活動)				
担当	伏見出張所管内	河川レンジャー		中川レンジャー	
参加小学校	京都教育大学付属 桃山小	伏見南浜小	向島南小	桃山東小	桃山南小
日時	5月14日(木) 9:00～12:00	5月28日(木) 9:00～12:00	6月19日(金) 9:00～12:00	9月8日(火) 9:00～12:00	9月18日(金) 9:00～12:00
参加人数	47名	104名	87名	86名	80名
	4年生児童 (留学生) 40名 教職員 5名 河川レンジャー (中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 97名 教職員 4名 スタッフ(京都教 育大学生) 1名 (京都教育大学) 河川レンジャー (中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 78名 教職員 4名 スタッフ(京都教 育大学生) 3名 河川レンジャー (中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 78名 教職員 4名 スタッフ(京都教 育大学生) 2名 河川レンジャー (中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 70名 教職員 3名 スタッフ(京都教 育大学生) 4名 河川レンジャー (中川) 1名 運営事務局 2名
参加小学校	伏見住吉小	二の丸北小	桃山小	向島小	砂川小
日時	10月14日(水) 9:00～12:00	10月21日(水) 9:00～12:00	10月22日(木) 9:00～12:00	10月28日(水) 9:00～12:00	11月25日(水) 9:00～12:00
参加人数	75名	22名	120名	55名	88名
	4年生児童 67名 教職員 4名 スタッフ(京都教 育大学生) 2名 (京都教育大学) 河川レンジャー (中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 16名 教職員 2名 スタッフ(京都教 育大学生) 2名 (京都教育大学) 河川レンジャー (中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 112名 教職員 4名 スタッフ(京都教 育大学生) 2名 (京都教育大学) 河川レンジャー (中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 48名 教職員 3名 スタッフ(京都教 育大学生) 2名 (京都教育大学) 河川レンジャー (中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 88名 教職員 4名 スタッフ(京都教 育大学生) 2名 (京都教育大学) 河川レンジャー (中川) 1名 運営事務局 1名
スケジュール	(活動) 9:00 十石舟乗船場集合 準備、協力スタッフと打合せ 十石舟乗船、川の観察 オリジナル作製した水辺散策資料による水辺クイズ実施 (京都教育大学学生と連携) 伏見みなと広場 宇治川展望スポット見学 三栖閘門資料館見学 濠川・宇治川派流の生物観察・清掃活動 12:00 解散				




(活動、)

活動場所



テーマ	京都伏見ジュニア河川レンジャー(活動)				
担当	伏見出張所管内		河川レンジャー	中川レンジャー	
参加小学校	桃山東小	砂川小	桃山南小	向島小	伏見住吉小
日時	2月12日(金) 10:30~11:30	2月16日(火) 14:00~15:00	2月17日(水) 14:00~15:00	2月18日(木) 11:00~12:00	2月19日(金) 10:30~11:30
参加人数	78名	88名	70名	48名	67名
	4年生児童 78名 教職員 4名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 88名 教職員 4名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 (京都教育大学) 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 70名 教職員 3名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 48名 教職員 4名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 67名 教職員 3名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 2名
参加小学校	二の丸北小	京都教育大学付属桃山小	伏見南浜小	向島南小	桃山小
日時	2月19日(水) 14:00~15:00	2~3月実施予定(調整中)	2~3月実施予定(調整中)	2~3月実施予定(調整中)	2~3月実施予定(調整中)
参加人数	16名	40名	97名	78名	112名
	4年生児童 16名 教職員 2名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 (京都教育大学) 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 40名 教職員 2名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 (京都教育大学) 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 97名 教職員 4名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 (京都教育大学) 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 78名 教職員 3名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 (京都教育大学) 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名	4年生児童 112名 教職員 4名 スタッフ(京都教育大学生) 3名 (京都教育大学) 河川レンジャー(中川) 1名 運営事務局 1名
スケジュール	<p>(活動)</p> <p>京都教育大学と連携し現在の教材を新しく改定し授業を行います。</p> <p>授業内容:安心安全に川と付き合う・水害を防ぐ工夫・伏見の歴史 淀川舟運について・琵琶湖疏水について Jr河川レンジャーの役割を考える</p> <p>授業時間:下記を約45分で実施 学習、のおさらい</p> <p>中川レンジャー・京都教育大学生によるパワーポイントを使用した上記内容授業</p> <p>中川レンジャーによるまとめ</p> <p>終了</p>				
活動場所	<p>(活動)</p> <p>小学校と調整し 各小学校の体育館やフリースペース等教室で実施</p>				

4.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>活動資料 京都教育大学と連携し制作</p>    
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 備品(のぼり、ピブス)の貸与</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施場所の検討</p> <p>参加の案内 各小学校への訪問による広報</p> <p>新規活動資料の制作(探検学習マップ・学習 教材) 企画 京都教育大学との打ち合わせ 制作</p> <p>必要物品の準備 各関係機関への備品、資料の貸与、提供依頼</p> <p>関係機関との調整 各関係機関へのスタッフ協力の調整 各小学校との調整 京都教育大学との調整</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 説明 参加者との交流</p>

4.3 活動状況



中川レンジャーの挨拶
(向島小学校の様子)



舟から見える風景と手元の写真を照らし合わせて
水辺クイズ実施 (向島小学校の様子)



十石舟乗船風景
(京都教育大附属小学校の留学生児童の様子)



伏見みなと広場船着場に到着
(伏見南浜小学校の様子)



宇治川展望スポット見学
(向島南小学校の様子)



展望台から伏見の町並みを一望
(伏見住吉小学校の様子)



三栖閘門資料館へ移動
(伏見住吉小学校の様子)



館内見学 動く舟の模型で閘門のしくみを学ぶ
(桃山小学校の様子)



実寸大の三十石舟を体感
(桃山小学校の様子)



学習に移る前の事前説明
(伏見住吉小学校の様子)



舟で通った濠川を歩く
(桃山南小学校の様子)



川沿いを清掃活動
(桃山東小学校の様子)



拾い集めたゴミの分別作業
(伏見住吉小学校の様子)



船着場に到着 閉会の挨拶
(桃山小学校の様子)

4.4 意見・課題

<p>参加者からの意見 レンジャーの感想</p>	<p>参加者からの意見 レポート集計中</p> <p>レンジャーの感想 今年度より学習 においても京都教育大学との連携をおこないました。 子ども達がより勉強しやすいよう新しい試みとして探検学習マップを制作しました。 (各種資料参照)先生方からの評価も高い一方、写真と資料が別々で、歩きながらや舟の中での学習において持ちにくい等今後の課題の発見もできました。</p> <p>付随する活動 京都伏見ジュニア河川レンジャーの活動に付随し下記の活動を行いました。 日時参加校人数: 平成 21 年 6 月 17 日 10:00～11:00 南浜小学校 4 年生 20 名 平成 21 年 7 月 2 日 10:00～11:00 南浜小学校 4 年生 21 名 場所:月桂冠酒蔵オフィス ミーティングルーム 内容:河川についての質疑応答勉強会</p>
<p>今後の課題</p>	<p>活動をあしがかりとした地域におけるネットワークづくり。</p>

5. 望月レンジャー活動実施報告・平成21年4月5日(日)

5.1 実施状況

<テーマ:地域イベントでの河川レンジャーPR>

テ ー マ	第3回桜まつり内でのクイズ大会		
担 当	伏見出張所管内	河川レンジャー 望月レンジャー	
開催日時	平成21年4月5日(日) 9:30 ~ 16:00		
参加人数	参加総数	105名	
	一般参加者	100名	(大人約40名、子供約60名) クイズ大会(第1~3回)子供 約60名
	河川レンジャー	2名	望月レンジャー、中川レンジャー
	協力スタッフ	2名	
	運営事務局	1名	
スケジュール	9:30	スタッフ集合・準備	
	10:00	イベント開始 地元小学生による演奏会 約40名	
	10:20	木田・谷口両氏による司会進行 伏見ライオンズクラブ会長開会挨拶(山口会長)	
	10:40	灯りプロジェクト表彰式(京都市観光課高見氏)	
	10:45	伏見音頭おどり実演	
	11:00	第1回望月レンジャーによる「お子様クイズ大会」	
	11:00	リバーサイドライブ(地元バンドによる演奏会計6回)	
	13:00	第2回望月レンジャーによる「お子様クイズ大会」	
	13:30	望月レンジャーの紹介・望月レンジャー挨拶	
	15:00	第3回望月レンジャーによる「お子様クイズ大会」	
	16:00	イベント終了	
実施場所	<p>(場所) 宇治川派流 「京橋～であい橋間河川沿い」</p> 		

5.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>特になし</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日・実施内容の検討 現地下見</p> <p>参加の案内 チラシの配布(配布先...伏見南浜小学校)</p> <p>必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用依頼 各種打ち合わせ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 移動時の安全確認 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

5.5.3 活動状況

活



河川レンジャーブース



・伏見ライオンズクラブ会長開会挨拶



・濠川河畔に並ぶ物産店テント



・望月レンジャーによるクイズ大会



・クイズ回答



・クイズ参加への呼びかけ



・クイズ参加者の整列



・クイズ参加者の整列

ス
回



・第2回目のクイズ出題



・クイズの解答



・望月レンジャーの紹介



・レンジャーとは何かの解説



・地元小学生による太鼓演奏



・クイズ回答正解者へのプレゼント

5.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>参加されたお子さんの年齢が幅広かったので、小さいお子さんには分かりづらい問題もあったようだ。</p> <p>出題数が少なかった。</p>
今後の課題	<p>「参加者からの意見」をふまえ、難易度の低い問題設定をし、一人でも多くのお子さんと彼らの親御さんにも、河川について、河川レンジャーについて、ご理解・ご協力をいただけるように、引き続きイベントに参加してゆきたいと思う。</p>

6. 望月レンジャー活動実施報告・平成 21 年 6 月 20 日(土)

6.1 実施状況

<テーマ:宇治川派流クリーンアップ活動>

テ ー マ	宇治川派流クリーンアップ活動		
担 当	伏見出張所管内	河川レンジャー	望月レンジャー
開催日時	平成 21 年 6 月 20 日(土) 10:00 ~ 11:00		
参加人数	参加総数	93 名	
	伏見南浜小学校児童・保護者 一般参加者 河川レンジャー 運営事務局	70 名 20 名 2 名 1 名	望月レンジャー、中川レンジャー
スケジュール	9:50	集合(伏見南浜小学校) 軍手・火ばさみ・ゴミ袋の配布	
	10:00	望月レンジャーの挨拶と活動内容の説明 宇治川派流へ移動	
	10:10	宇治川派流到着 左右岸の高水敷で清掃活動開始	
	11:00	宇治川派流～濠川から伏見港公園	

実施場所



6.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<p>特になし</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要備品の貸与 ゴミ袋の提供 集積ゴミの回収</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日・実施内容の検討 現地下見</p> <p>参加の案内 チラシの配布(配布先...伏見南浜小学校、ボランティア団体)</p> <p>必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用以来 各種打ち合わせ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 移動時の安全確認 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

6.3 活動状況



スタッフ集合・備品等の準備と打ち合わせ



一般参加者集合



望月レンジャーの挨拶



清掃箇所へ移動



清掃開始



ゴミ拾いを中心とした清掃活動



清掃の様子



6.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>幼児から年配の方まで、幅広い年齢の方達が一緒に活動できてよかった。</p> <p>前回のように、先頭集団から最終到着者までの時差が少なく、スムーズに活動できた。</p>
今後の課題	<p>さらに多くの方々にご参加いただくため、</p> <ul style="list-style-type: none">・ マスコミ・ 区役所 <p>などと募集の連携をしてゆきたい</p>


7. 望月レンジャー活動実施報告・平成 21 年 11 月 28 日(土)

7.1 実施状況

<テーマ:川と人とまちをつなげる>

テ ー マ	濠川・宇治川派流クリーンアップ		
担 当	伏見出張所管内	河川レンジャー	望月レンジャー
開催日時	平成 21 年 11 月 28 日(土) 10:00~11:30		
参加人数	参加総数	169 名	
	伏見南浜小学校児童、保護者 一般参加者 河川レンジャー 運営事務局	50 名 116 名 2 名 1 名	ライオンズクラブ、ロータリークラブ 望月、中川レンジャー
スケジュール	9:00	スタッフ集合	
	9:30	集まった参加者へ清掃用具(軍手、火ばさみ、ゴミ袋)の配布	
	10:00	開会宣言 望月レンジャー、南浜小学校関係者、各種団体より開会の挨拶のあと、出発	
	10:15	濠川の清掃開始場所到着 歩道上と河川敷、二手に分かれて清掃開始	
	10:45	伏見みなと公園にて清掃を終えた参加者からゴミと用具の回収 集まったゴミを指定の場所へ集積	
	11:20	閉会の挨拶 参加者解散	
	11:40	スタッフ解散	
実施場所			

7.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>活動案内</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要物品(のぼり、ビブス等)の貸与 集積ゴミの回収、処理</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容の決定 現地下見 スタッフとの打合せ</p> <p>参加の案内 案内チラシの作成 各種団体への広報活動</p> <p>必要物品の準備 貸与の依頼</p> <p>関係機関との調整 スタッフ協力依頼 事前打合せ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会、進行 参加者との交流 関係者との打合せ及び調整</p>

7.3 活動状況



伏見南浜小学校にて集合
清掃用具の貸し出し



開会の挨拶



濠川沿い到着 二手に分かれて清掃開始



清掃の様子



清掃の様子



伏見みなと公園にてゴミの回収



閉会の挨拶



この日集められたゴミ

7.4 意見・課題

参加者からの意見	年齢層が広範囲(小学生～大人)な上、各々の清掃意識の差もあり、解散地点への集合時間に大きく差が出た。
今後の課題	マスコミ告知 様々な立場の方をまとめるコーディネーターの力をつけたい。

8. 中村レンジャー活動実施報告・平成 21 年 5 月～(7 回実施)


8.1 実施状況

< テーマ: かつらがわ自然観察会 >

テーマ	かつらがわ自然観察会			
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー	中村レンジャー	
参加小学校	宇多野小学校			
日時	5月11日(月) 9:00～12:45		6月25日(木) 9:00～12:00	
参加人数	総数	79名	総数	77名
	児童(3年生)	71名	児童(3年生)	71名
	教職員	4名	教職員	2名
	河川レンジャー	1名	河川レンジャー	1名
	スタッフ	2名	スタッフ	2名
	運営事務局	1名	運営事務局	1名
スケジュール	9:00スタッフ集合・打ち合わせ 児童集合・挨拶と活動の説明 9:30学校出発 校区内を川に沿って歩いてみて、 自分の目で自分が住んでいる地域の様子を知る 11:00学校到着後、観察した野鳥や昆虫を復習しながら生態系ピラミッドを使い、校区内の環境の学習 12:15終わりの挨拶・終了		9:00スタッフ集合・打ち合わせ 9:20児童集合・挨拶と活動の説明 9:30学校出発 三宝寺川到着・パケットテスト 生き物観察と魚とり 11:10学校到着 11:10スタッフによる捕獲した魚類の説明 11:45終わりの挨拶・終了 後片付け 12:00解散	
	<p>活動場所</p>  <p>The map shows the location of Utsunoyama Elementary School (宇多野小学校) in a yellow box. The school is situated near the intersection of National Route 16 and National Route 163. Surrounding areas include Utsunoyama (宇多野), Mitsuji (三ツ吉), and various local landmarks like temples and mountains. The map also shows the course of the river (Katsuragawa) and other nearby towns like Mitsuji and Utsunoyama.</p>			

テーマ	かつらがわ自然観察会				
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー	中村レンジャー		
参加小学校	嵐山小学校	宇多野小学校	西京極小学校	宇多野小学校	桂徳小学校
日時	12/25(金)	1/21(木)	1/23(土)	2/23(火)	2/27(土)
	9:00～12:00	9:30～11:15	9:00～12:00	実施予定	実施予定
参加人数	35名	77名	35名		
	児童、保護者、先生、 幼児1 31名 協力スタッフ 2名 河川レンジャー 1名 運営事務局 1名	児童、先生 72名 協力スタッフ 3名 河川レンジャー 1名 運営事務局 1名	児童、先生、保護者 29名 協力スタッフ 4名 河川レンジャー 1名 運営事務局 1名		
スケジュール	<p>(12/25、1/21、1/23)</p> <p>集合・挨拶、スタッフの紹介</p> <p>桂川河川敷で観察会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドスコープを使用した野鳥の観察 ・レンジャー、スタッフより水辺の樹木や生きものについて話し合い。 <p>学校に移動</p> <p>鳥合わせと振りかえり</p> <p>レンジャーより観察会のまとめと桂川と野鳥、環境保全等についてのお話し</p> <p>終了</p>				
活動場所	<p>(12/25、1/21)</p> 		<p>(1/23)</p> 		

8.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>・配布資料・</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要物品の貸与 配布資料の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 小学校との調整 実施内容の検討 現地下見</p> <p>参加の案内 小学校との調整</p> <p>必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 備品の借用以来 各種打ち合わせ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 観察の指導・解説 児童らとの交流 意見・感想のとりまとめ</p>

8.3 活動状況
5月11日



児童集合・中村レンジャーより挨拶



道中、スタッフより観察した生き物の解説



三宝寺川水際での観察



帰校後、パワーポイントを上映し、観察会の復習

6月25日



魚とりについての説明



バックテストの実施



魚とりの様子



帰校後、観察とバックテストの復習 終了

12月25日



中村レンジャーの挨拶



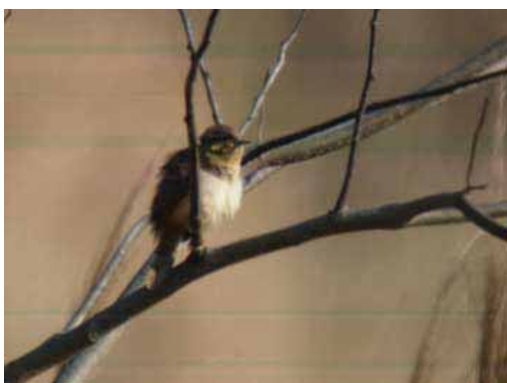
中之島公園でフィールドスコープを使って観察



スタッフによる標本を用いた野鳥の生態解説



学校にて鳥合わせ実施



観察種 アリスイ(準絶滅危惧種 = 京都府)



(参考写真)

1月21日



中之島公園にて開会の挨拶・スタッフ紹介



野鳥観察風景



双眼鏡を使った観察の様子



中村レンジャーより閉会の挨拶

1月23日



学校にてレンジャーの挨拶、野鳥のお話し



観察ポイントへ移動しながら観察会

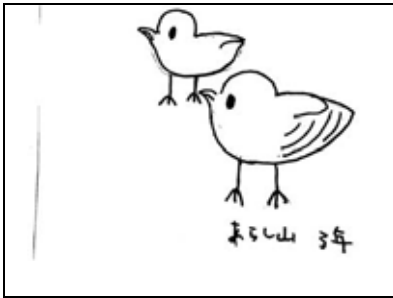


桂川河川敷での野鳥観察の様子



教室に戻り、鳥合わせと標本を使った生態説明

8.4 意見・課題

<p>参加者からの 意見</p>	<p>身近な河川環境を再確認し、観察会を今後も続けて欲しいという要望があった。校長、教頭先生から今後については授業として継続実施することが決まった。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>現地(桂川)は、環境学習には最適な学習の場となるので、西京極小学校と地域を巻き込んだ形のレンジャー活動の拠点にし、継続して実施したいと考えている。</p>
<p>その他</p>	<div data-bbox="721 1303 1115 1599" data-label="Image"></div> <p>児童が描いた鳥のイラスト</p>

9. 中村レンジャー活動実施報告・平成21年8月4日(火)

9.1 実施状況

<テーマ:ツバメのねぐらを見てみよう!>

テ ー マ	ツバメのねぐらを見てみよう!		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー中村レンジャー	
開催日時	平成21年8月4日(火)16:00~19:30		
参加人数	参加総数	70名	
	一般参加者	9名	
	学校参加者	48名	宇多野小学校児童、引率教師
	河川レンジャー	1名	中村レンジャー
	スタッフ	3名	
	講師	7名	
	運営事務局	2名	
講 師	須川 恒氏 中村 桂子氏	(環境省鳥類標識調査) (河川レンジャー)	
スケジュール	<p>17:30 観月橋駅前集合</p> <p>18:04 現地到着・開会のあいさつ</p> <p>18:16 須川講師によるツバメのねぐら解説</p> <p>18:29 質疑応答</p> <p>18:36 ねぐら入りの観察</p> <p>18:50 オオヨシキリの標識作業</p> <p>19:07 ツバメのねぐら入りのようす</p> <p>19:30 ツバメの標識調査の見学</p>		
実施場所			

9.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日・実施内容の検討 現地下見</p> <p>参加の案内 宇多野小学校と打ち合わせ チラシの配布 京都新聞に活動案内記事掲載 ホームページ掲載</p> <p>必要物品の準備 関係機関、協力者への依頼・調整</p> <p>関係機関との調整 スタッフ依頼、調整 各種打ち合わせ</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 観察の指導・解説 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

9.3 活動状況



17:30 観月橋駅前集合



18:04 現地到着・開会のあいさつ



18:16 須川講師によるつばめのねぐら解説



18:29 質疑応答



18:36 ねぐら入りの観察



18:50 オオヨシキリの標識作業



19:07 ツバメのねぐら入りのようす




19:30 ツバメの標識調査の見学



10. 中村レンジャー活動実施報告・平成21年9月12日(土)

10.1 実施状況

<テーマ:地域、子供を中心に桂川で実施する自然観察会を基に桂川の自然ネットワークづくりを目指す>

テーマ	桂川講座		
担当	桂川出張所管内	河川レンジャー	中村レンジャー
開催日時	平成1年9月12日(金) 13:30~16:00		
参加人数	参加総数 31名		
	一般参加者 22名 (一般聴講者、宇多野小・嵐山小の児童と保護者、先生) 河川レンジャー 1名 協力スタッフ 2名 淀川河川事務所 2名 桂川出張所 2名 取材(京都新聞) 1名 運営事務局 1名		
講師	宮本 博司氏(淀川流域委員会委員・元近畿地方整備局河川部長) 安田 勝氏(京都府河川課、気象予報士、雨水の会会員)		
スケジュール	13:05 スタッフ集合・準備 PC等の設置 参加者受付開始 13:30 開会 14:00 開演・中村レンジャーの挨拶と講師紹介 栗林出張所長より挨拶 14:10 講演 宮本 博司氏 宇多野小学校、嵐山小学校児童による雨水の取り組みについての報告 安田 勝氏講演(京都府河川課、気象予報士、雨水の会員) 16:00 終了		
実施場所			

10.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>活動案内</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>配布資料(下敷き)</p> </div> </div>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要資料(野鳥の下敷き等)の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>活動計画の立案 実施日、実施内容の検討 講師、スタッフの依頼、調整</p> <p>参加の案内 活動案内の作成と配布</p> <p>必要物品の準備 必要資料、パワーポイント資料の作成 関係機関への提供依頼</p> <p>関係機関との調整 必要資料の提供依頼 実施場所の調整</p> <p>活動の実施 当日の進行・運営 開会、閉会の挨拶 説明、解説</p>

10.3 活動状況



開会 中村レンジャー、栗林所長より挨拶



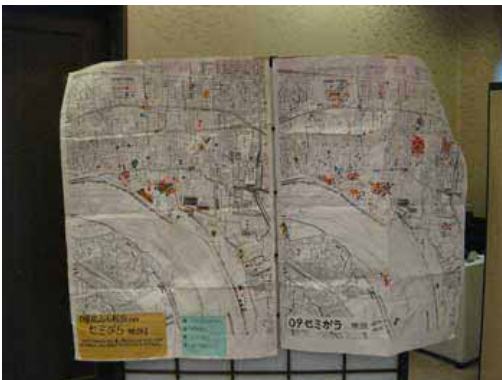
宮本氏による講演



宇多野小学校児童による雨水の取り組みについての発表



続いて嵐山小学校児童による発表



嵐山小学校児童作成「セミがら地図」



安田氏による講演



閉会 中村レンジャーの挨拶で締めくくられた

10.4 意見・課題

参加者からの 意見	今回の様な雨水に関わる環境教育を学校では殆ど学習しないと聞き、 良い機会に成ったと校長先生に喜んで頂いた。
今後の課題	<p>最初に依頼していた嵐山小学校の校長と担当野先生が異動になった。 それを知らずに約束通りに事が進むと思っていた私の不覚。 内容及び発表が思い道理に運ばず、直前になって慌てた。 今後はこのようなことがないように注意して計画を進めたい。</p> <p>PC とスクリーンとプロジェクターを持参したが、突然不具合に見舞われ 大変困った。レンジャーが必ずしも PC の扱いが得意とは限らない。 今回の様な事が再度起こる可能性を考えると恐怖。 機材準備等について得意な人材の確保が望まれる。</p>

11. 田子レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 26 日(日)

11.1 実施状況

< テーマ: 河川の環境保全を図る活動 >

テ ー マ	桂川自然観察会 - 春を探しに		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー田子レンジャー	
開催日時	平成 21 年 4 月 26 日(日)9:00 ~ 12:30		
参加人数	参加総数	42 名	
	一般参加者	31 名	田子レンジャー、荘司レンジャー
	河川レンジャー	2 名	
	講師	3 名	
	スタッフ	4 名	
	淀川河川事務所 運営事務局	1 名 1 名	小俣所長
講 師	松尾氏 植田氏 石川氏	(野鳥の会会員) (野鳥の会会員) (桂川ポスター活動指導者)	
スケジュール	8:38	阪急西京極駅前の受付風景	
	9:12	西京極公園での開会のあいさつ	
	9:20	小学生のポスター活動を進める石川氏のあいさつ	
	9:21	小学生が描いた桂川ポスターの紹介	
	9:26	外部団体「公園探研隊」の参加呼びかけ	
	9:45	キウリグサの匂いの確認	
	9:50	トウゴマの種は猛毒(リシン)を含む	
	9:53	水鳥の観察開始	
	9:57	小学生のポスターと投棄ゴミ	
	10:09	アメリカフウロ	
	10:18	オニグルミの雄花(垂花)と雌花(紅花)	
	11:02	近年侵入しているカキネガラシ	
	11:57	松尾講師レジ袋を減らす風呂敷講義	
	12:06	植田講師鳥の講義	
	12:18	集合写真	
	12:34	鳥合わせと閉会のあいさつ	
実施場所			

11.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要物品の貸与 必要資料の提供 チラシの印刷</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 現地下見</p> <p>参加の案内 参加案内の作成 配布活動</p> <p>必要物品の準備 各関係機関への貸与依頼、調整 配布資料(パンフレット)の作成</p> <p>関係機関との調整 事前打合せ スタッフへの協力依頼</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 野草、野鳥の説明 参加者との交流 アンケートの集計</p>

11.3 活動状況



8:38 阪急西京極駅前の受付風景



9:12 西京極公園での開会のあいさつ



9:20 小学生のポスター活動を進める石川氏のあいさつ



9:21 小学生が描いた桂川ポスターの紹介



9:26 外部団体「公園探研隊」の参加呼びかけ



9:45 キウリグサの匂いの確認



9:50 トウゴマの種は猛毒(リシン)を含む



9:53 水鳥の観察開始



9:57 小学生のポスターと投棄ゴミ



10:09 アメリカフウロ



10:18 オニグルミの雄花(垂花)と雌花(紅花)



11:02 近年侵入しているカキネガラシ



11:57 松尾講師レジ袋を減らす風呂敷講義



12:06 植田講師鳥の講義



12:18 集合写真



12:34 鳥合わせと閉会のあいさつ


11.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>知らない鳥や花の名前が分かり、より桂川に親しみを感じた。</p> <p>楽しかった、この自然を綺麗にして守りたい。</p> <p>ゴミが多いのが残念。トイレがほしい(複数)</p> <p>次回も参加したい。</p> <p>自転車道にクルマ止めが必要。</p>
今後の課題	<p>午後雨で中止したが、野草も多く参加者が熱心に観察されていた。</p> <p>桂大橋から下流にトイレが無いのでコースが限定される。</p> <p>参加者を多く募りたいが、鳥、花を説明できるスタッフの確保が難しい。</p> <p>今回昼食時間を利用して風呂敷、野鳥のミニ講座が人気だった。</p>

12. 田子レンジャー活動実施報告・平成 21 年 6 月 28 日(日)

12.1 実施状況

< テーマ: 河川の環境保全を図る活動 >

テ ー マ	桂川クリーンキャラバン隊		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー-田子レンジャー	
開催日時	平成 21 年 6 月 28 日(日)8:00 ~ 10:30		
参加人数	参加総数	32 名	
	一般参加者	27 名	ボーイスカウト団体 15 名を含む
	河川レンジャー	2 名	田子・仁枝レンジャー
	講師	1 名	
	出張所 運営事務局	1 名 1 名	栗山所長
講 師	石川氏	子どもたちの絵画を看板にし、河川をきれいにする活動の主催者	
スケジュール	7:49	ゴミ荷揚げロープの設営	
	7:54	清掃対象地のゴミのようすと下草刈り	
	8:04	レンジャー開会のあいさつ	
	8:12	清掃用具の配布	
	8:25	水辺の清掃開始	
	8:27	収集ゴミの運び上げ	
	8:35	河川敷でのゴミ収集のようす	
	8:44	草の下に積み重なったゴミの状況	
	9:03	ゴミの収集作業後、きれいになったようす	
	9:08	休憩時の石川講師のお話	
	9:30	ゴミ集積地までの運搬	
	9:54	閉会後の集合写真	
	10:04	ゴミ集積地の最終確認	
実施場所			

12.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要物品の貸与 必要資料の提供 ゴミの回収</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 現地下見</p> <p>参加の案内</p> <p>必要物品の準備 各関係機関への貸与依頼、調整</p> <p>関係機関との調整 事前打合せ スタッフへの協力依頼</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 清掃作業 参加者との交流 意見・感想のとりまとめ</p>

12.3 活動状況



7:49 ゴミ荷揚げロープの設営



7:54 清掃対象地のゴミのようすと下草刈り



8:04 レンジャー開会のあいさつ



8:12 清掃用具の配布



8:25 水辺の清掃開始



8:27 収集ゴミの運び上げ



8:35 河川敷でのゴミ収集のようす



8:44 草の下に積み重なったゴミの状況



9:03 ゴミの収集作業後、きれいになったようす



9:08 休憩時の石川講師のお話



9:30 ゴミ集積地までの運搬



9:54 閉会後の集合写真



10:04 ゴミ集積地の最終確認

12.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>この様な清掃活動を定期的に行ってはどうか。</p> <p>ゴミを捨てないマナーの向上が大事</p> <p>罰則の強化が必要では</p> <p>ご苦労様です。レンジャー活動に期待しています。</p>
今後の課題	<p>全体にゴミは少なくなって来たが、水辺にゴミが堆積している。</p> <p>危険が伴うところのゴミは行政に連絡を取って回収してもらう必要が有る。</p> <p>ゴミを捨てないマナーの向上に向けた啓蒙活動も平行して行う必要が有る</p>


13. 田子レンジャー活動実施報告・平成 21 年 10 月 4 日(日)

13.1 実施状況

< テーマ: 桂川自然観察会 >

テ ー マ	桂川自然観察会「秋を探そう」		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー 田子レンジャー	
開催日時	平成 21 年 10 月 4 日(日) 8:30~14:00		
参加人数	参加総数	43 名	
	一般参加者	31 名	子供 2 名、大人 29 名
	協力スタッフ	8 名	
	河川レンジャー	1 名	田子レンジャー
	淀川河川事務所	1 名	
	運営事務所	2 名	
スケジュール	8:30	スタッフ集合 受付開始	
	9:15	西京極公園にて田子レンジャー挨拶	
	9:30	桂川へ出発 野草の観察	
	11:15	桂大橋で昼食	
	12:00	協力スタッフによる「風呂敷活用講座」 桂川生息植物の種子などの紹介	
	12:35	三号井堰へ移動	
	13:05	サクラタデ群生の観察	
	13:30	桂大橋に移動	
		鳥合わせ・クイズ実施	
	14:00	アンケート記入、次回の活動案内 解散	
実施場所			

13.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>・配布資料・</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 必要物品の貸与 必要資料の提供 チラシの印刷</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容の検討 現地下見</p> <p>参加の案内 参加案内の作成 配布活動</p> <p>必要物品の準備 各関係機関への貸与依頼、調整 配布資料(パンフレット)の作成</p> <p>関係機関との調整 事前打合せ スタッフへの協力依頼</p> <p>活動の実施 開会、閉会の挨拶 司会進行 野草、野鳥の説明 参加者との交流 アンケートの集計</p>

13.3 活動状況



西京極公園にて開会の挨拶



桂川移動中での観察風景



サクラタデ



オニグルミの観察



桂大橋にてスタッフによる風呂敷活用講座



桂川に生息する植物の種子講座



3号井堰で野鳥の観察



桂大橋に戻り、鳥合わせ実施後 閉会

13.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>レンジャーの行事を公報などで紹介してほしい。 桂川がこんなに自然豊かなことを知りませんでした。 春、夏、秋、冬の桂川の見所を知りたい。 この様な観察会があれば又参加したい。 河川の清掃は行政が機械的に行わず、専門の知識が有る人が、目的を明確にして計画的に行い、それを公表してほしい。 トイレがほしい。 アンケート提出 20 名 楽しかった 20 名 桂川は自然が豊かだと思う 18 名</p>
今後の課題	<p>観察区間に橋の下以外日陰が無く暑い時など休憩する場所に苦労する。 トイレが少なく観察場所が限定される。 少人数で組を作って参加者全員が説明を聞いたり質問が出来る観察会にしたい。</p>


14. 田子レンジャー活動実施報告・平成 21 年 12 月 23 日(水祝)

14.1 実施状況

< テーマ: 冬鳥を探そう >

テ ー マ	桂川自然観察会		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー田子レンジャー	
開催日時	平成 21 年 12 月 23 日(水祝)9:00 ~ 14:00		
参加人数	参加総数	35 名	
	一般参加者	28 名	田子レンジャー
	河川レンジャー	1 名	
	講師	5 名	
	運営事務局	1 名	
講 師	植田氏 田口氏 石川氏 松尾氏 石川氏	(日本野鳥の会) (日本野鳥の会) (桂川清掃活動) (日本野鳥の会) (日本野鳥の会)	
スケジュール	<p>8:38 西大路駅前の受付風景</p> <p>8:50 当日資料の配付</p> <p>9:11 近隣の公園にて開会のあいさつ</p> <p>9:20 清掃活動を続ける石川さんの報告</p> <p>9:53 桂川現地に到着、観察についての注意点説明</p> <p>9:57 こどもさんも参加して観察開始</p> <p>10:06 講師による鳥の頭蓋骨(イカル)</p> <p>11:05 残したい桂川の風景その 1</p> <p>11:06 残したい桂川の風景その 2</p> <p>11:12 ガガイモの羽毛の講義</p> <p>12:18 鳥笛の講義</p> <p>12:20 JR 橋梁を背景に集合写真</p> <p>12:58 講師の鳥羽講義</p> <p>14:01 講師の鳥合わせ</p>		
実施場所			

14.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川河川事務所 観察会案内パンフプリント 鳥の下敷提供</p> <p>観察会案内パンフの送付及び区役所、最寄の駅へ配布。</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>計画の立案 実施日、実施内容の検討</p> <p>広報活動 観察会案内パンフ作成、送付及び区役所、最寄の駅へ配布</p> <p>関係機関との調整 講師、スタッフ依頼</p> <p>必要物品の準備 アンケート作成、参加者名簿作成 配布物の用意 配布物の帳合い</p> <p>活動の実施 観察予定地の下見 観察会の纏め 「観察を通じて、桂川の自然の素晴らしさを知って貰う そしてその素晴らしい自然豊かな川を大切にする心を養って生きたい」</p>

14.3 活動状況



8:38 西大路駅前の受付風景



8:50 当日資料の配付



9:11 近隣の公園にて開会のあいさつ



9:20 清掃活動を続ける石川さんの報告



9:53 桂川現地に到着、観察についての
注意点説明



9:57 こどもさんも参加して観察開始



10:06 講師による鳥の頭蓋骨(イカル)



11:05 残したい桂川の風景その1



11:06 残したい桂川の風景その2



11:12 ガガイモの羽毛の講義



12:18 鳥笛の講義



12:20 JR 橋梁を背景に集合写真



12:58 講師の鳥羽講義



14:01 講師の鳥合わせ

14.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>小さい時から親しんでいる桂川の自然を残したい。 いつも電車や車から見ていた桂川でしたが、入ってみると、その自然の豊かさにホッとさせられました。 多様な生物が生息できる環境を残してほしい。 そして自然の素晴らしさ、楽しさを学校教育に取り入れてほしい。 一木一草、鳥がいとおいしいです。残したい自然です。 鳥のくちばし全部理にかなっているのですね。 今日は環境の事を勉強するいい機会になりました。 ミコアイサを初め多くの鴨や小鳥を見られて大満足でした。 桂川はまだまだ自然が残っていると思いました。 又来ます。(子供) 子供達の参加を増やす方法を検討されたいと思います。</p> <p>アンケート回答 27 名 全員が楽しかった。 レンジャーを知っていた 21 名。知らなかった 6 名</p> <p>見られた鳥 (44 種) ハイタカ、チョウゲンボウ、ジョウビタキ、イカル、シメ、アオジ、コゲラ ミコアイサ、ヨシガモ、バン、オオバン等</p>
<p>今後の課題</p>	<p>子供の参加を増やしたい。</p> <p>トイレがあまり無く、観察場所が限定される。 今回も途中から雨に降られたが、雨宿りする場所を事前な探しておくことが必要。</p>

15. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成 21 年 8 月 23 日(日)


15.1 実施状況

< テーマ: 人と水の関わりの歴史 >

テ ー マ	長岡京市の源流を訪ねて「歴史講演会」 長岡京市教育委員会からの依頼による		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー 柳沼レンジャー	
開催日時	平成 21 年 8 月 23 日(日) 13:30 ~ 15:30		
参加人数	参加総数	40 名	
	一般参加者	28 名	柳沼レンジャー
河川レンジャー	1 名		
協力スタッフ	10 名		
運営事務局	1 名		
スケジュール	13:00	受付	
	13:30	講演開始(長岡京市ふるさとガイドの会より司会挨拶)	
	13:35	柳沼レンジャーPPT を使用し 河川レンジャーとは 小畑川周辺の流域概要 水と人との関わり 等の内容による講演	
	15:05	休憩	
	15:15	参加者からの質問の受付	
	15:35	終わり	
	15:37	長岡京市教育委員会より挨拶(次回イベント紹介)	

実施場所	<p>The map shows the event location at the Nagaoka City Central Civic Center (長岡京市中央公民館), which is circled in red. The center is situated near the Yamanashi River (八条ヶ池) and the Nagaoka Tenjin station (長岡天神). Other nearby landmarks include the Nagaoka City Office (長岡京署), Nagaoka Tenjin High School (長岡天神ハイイツ), and various local businesses and hospitals.</p>
------	--

15.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>市報での広報</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>行事案内ちらし</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>配布資料</p> </div> </div>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>長岡京市教育委員会 広報 市報掲載</p> <p>長岡京市ふるさとガイドの会 広報 ちらし・その他広報 印刷</p> <p>淀川河川事務所 必要資料の提供</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 企画書等作成 関係者依頼・打合せ</p> <p>必要物品の準備 講演解説関連施設等の撮影 配布資料作成 配布資料印刷</p> <p>関係機関との調整 企画案検討・調整 打ち合わせ</p> <p>活動の実施 当日の講演 意見・感想とりまとめ</p>

15.3 活動状況



会場全景



受付状況



会場準備風景



司会者挨拶



柳沼レンジャー講演



講義傍聴者風景



講義傍聴者風景



市教育委員会職員挨拶

15.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>当日、傍聴者から寄せられた意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問1 水害等の警報情報は公的な機関から入手する場合どのようにすればよいか。 (答え) 第一義的には、新聞、ラジオ、テレビ等のマスコミを利用する。より詳しく知りたい場合は、京都府や国交省の防災情報(携帯でも知ることが出来る)市役所の情報及び自治会の情報を収集し自らの意識を高めることが必要。 ・質問2 最近の災害から危機感を感じるため、地域住民を含めた防災訓練を実施すべきではないか。 (答え) 防災訓練は当然必要と考えるが、やはり地域住民が危機意識を持って自らが行うことが肝要である。行政の支援は今後の課題。 ・質問3 川というのは、恵みの水と怖い水との両面があるが、水文化としての水の恵みを生かした施設保存・利用は今後どうすべきか。 (答え) 環境を保全する上で、古来の水利用・水文化を持つ施設を保存し記録しておくことが必要であるが、市としても対応されているようであるが、財政上の理由で現段階では解決されていない。
<p>今後の課題</p>	<p>今回は市教育委員会行事で、おもな広報手段が市報等であったため、水や歴史に関心がある年齢層が高い層が主な参加者となったようだ。行事終了後多くの参加者から話を聞くと、新住民が多く、災害の可能性としては土砂災害に関係する人々のようである。伏見区等の桂川沿岸旧集落の水害に関係する旧住民は少ないものに来ていた。同じ旧乙訓郡域であり、生活範囲の関係で来やすいことや桂川と小畑川の水害と被害の拡大に関して関連性を理解している人もいることもあり、来やすかったようだ。今後、広報手段等に関しては共催機関等とも打ち合わせを行い、対象や地域を検討していきたい。</p> <p>行事終了後ホールにて10人以上の様々な質問の方々が来られた。参加者にとっては教養の部分もあるが、現実のまちづくりや防災の課題として様々な思いがあるようである。今後、いかにして、知識を行動にしてもらえるかが課題である。</p> <p>防災関係の質問が多かったが、防災に関しては災害の「各段階」に応じて様々な準備と対応法があるため、短い時間では話しきれないということもある。今後、行事の実施と仕組み作りが必要とされている。</p>

16. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成21年9月1日(火)～9月8日(火)

16.1 実施状況

< テーマ:長岡京市防災展 >

テ ー マ	長岡京市防災展 長岡京市防災展出展 長岡京市危機管理監からの依頼による 自分の命を守るために防災力をつけましょう																																
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー	柳沼レンジャー																														
開催日時	平成21年9月1日(火)～9月8日(火)8:30～17:00 31日、7日は閉館日 (施設の閉館が21時のため、実際は21時まで)最終日は12時まで 設置・展示は8月30日(日)より																																
参加人数	一般参加者 河川レンジャー	約1230名 1名	1時間15人×78.5H 1230人 柳沼レンジャー 15人は見学者の平均概数																														
スケジュール	<table border="0"> <tr><td>30日</td><td>日</td><td>設置・展示 市危機管理担当</td></tr> <tr><td>31日</td><td>月</td><td>休館</td></tr> <tr><td>1日</td><td>火</td><td>展示・配布資料設置、見学、公民館あて挨拶</td></tr> <tr><td>2日</td><td>水</td><td>展示・配布資料設置</td></tr> <tr><td>3日</td><td>木</td><td>展示・配布資料設置</td></tr> <tr><td>4日</td><td>金</td><td>展示・配布資料設置 17時～19時資料の直接配布・聞き取り 公民館打合せ、会場整備</td></tr> <tr><td>5日</td><td>土</td><td>展示・配布資料設置 17時～18時資料の直接配布・聞き取り 公民館打合せ</td></tr> <tr><td>6日</td><td>日</td><td>展示・配布資料設置</td></tr> <tr><td>7日</td><td>月</td><td>休館</td></tr> <tr><td>8日</td><td>火</td><td>展示・配布資料設置・撤収 市危機管理担当</td></tr> </table>			30日	日	設置・展示 市危機管理担当	31日	月	休館	1日	火	展示・配布資料設置、見学、公民館あて挨拶	2日	水	展示・配布資料設置	3日	木	展示・配布資料設置	4日	金	展示・配布資料設置 17時～19時資料の直接配布・聞き取り 公民館打合せ、会場整備	5日	土	展示・配布資料設置 17時～18時資料の直接配布・聞き取り 公民館打合せ	6日	日	展示・配布資料設置	7日	月	休館	8日	火	展示・配布資料設置・撤収 市危機管理担当
30日	日	設置・展示 市危機管理担当																															
31日	月	休館																															
1日	火	展示・配布資料設置、見学、公民館あて挨拶																															
2日	水	展示・配布資料設置																															
3日	木	展示・配布資料設置																															
4日	金	展示・配布資料設置 17時～19時資料の直接配布・聞き取り 公民館打合せ、会場整備																															
5日	土	展示・配布資料設置 17時～18時資料の直接配布・聞き取り 公民館打合せ																															
6日	日	展示・配布資料設置																															
7日	月	休館																															
8日	火	展示・配布資料設置・撤収 市危機管理担当																															

実施場所



16.2 事前活動

<p>各種資料</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>市報</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>配布資料</p> </div> </div>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>長岡京市総務課危機管理担当 広報 市報掲載</p> <p>淀川河川事務所 必要資料の提供</p>

<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施概要 長岡京市主催の防災展に協力・出展し、市内の水害資料の掲示を行うとともに、河川レンジャーの広報も行った。</p> <p>市・府展示内容 京都府内における水害の様子をパネルで展示。 今回は乙訓土木事務所とも連携し、水害を中心の展示とした。</p> <p>市の備蓄物資の展示 防災資機材の展示 木造住宅耐震化助成制度の紹介 普及用資料配布</p> <p>河川レンジャー展示内容等 レンジャー制度の解説 活動写真 淀川 100 年広報掲示 その他普及用資料配布 関連資料の入手・貸し出し</p> <p>実施計画の立案 企画書等作成 関係者依頼・打合せ</p> <p>必要物品の準備 展示解説関連施設等の撮影 展示用資料作成 展示用資料印刷 展示用ポスター等入手</p> <p>関係機関との調整 企画案検討・調整 長岡京市危機管理担当、乙訓土木事務所 打ち合わせ</p> <p>活動の実施 展示 説明・聞き取り 館長の許可を得て京都府版児童用河川活用普及チラシ(活用・安全)・河川啓発チラシを直接配布した。また、聞き取りも行った。</p> <p>直接配布 9月4日 17時から19時 7組9名 5日 17時から18時 6組12名</p> <p>聞き取り 9月5日 17時から18時 2名 地域水害史について 昭和40年代に子どもが流され救助されたという新出事案あり、今後状況により調査</p> <p>なお、2009年2月のレンジャーの運営会議において「担当地区(旧乙訓郡域)ゲリラ豪雨対策チラシ作成」の話題が出たが、京都府のほうで良いものを作っていたため、そちらのチラシに一本化して配布・啓発することとした。</p>
-------------------	---

16.3 活動状況



会場全景



会場入り口・市の展示



ハザードマップを見る見学者



レンジャー関連の展示 正面



レンジャー関連の展示 側面



京都府の展示

16.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>当日、見学者から寄せられた意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問 この地図(ハザードマップ)でウチのあたりは水が付かないことになってるけど、昔、洪水のとき子どもが流されたことがあったって言われてるで。この地図はどうなんやろ。 <p>(答え) この地図(小畑川想定)では、小畑川で「昭和 28 年に降った大雨の量の約 2 倍の大雨が降った時にどうなるか」を示した地図なんで、そのほかの川の様子は入っていません。ほら、去年の 7 月のゲリラ雨のときなんかは、小さい川があふれましたわな。この辺りの川的设计では一時間に 50 ミリぐらいまでなんで、去年みたいに 76 ミリも降ったら小さい川はあふれます。小さい川まで 76 ミリとか、もっと多くの水が流れるようにするには、どうしても手が回りません。町中工事だらけになりますわ。</p> <p>それもあって、地域の人にも水の事知って、備えてもらいたいという行事(防災展)です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問 洪水のときやら、役所はどうなるんですか。 <p>(答え) あ、裏面(反対側のパネル)にも「自助共助」のことが書いてありますけど、どうしても、そんな時は各地域で消防やらに色々電話がかかりますわね。そうすると、消防さんも優先度というか、より危ないほうを考えて動きます。場合によっては行けないこともあります。途中、道路が水に浸かって走れない、たどり着けないんです。そうすると、やっぱり、まず第一は自分で、地域で、守ってもらうしか方法は無いと思います。</p> <p>もちろん日ごろから役所も色々準備してますけど、もう、ゲリラ(豪雨)だと追いつきません。一部、小学校や自治会とかで、防災の勉強会とかしています。もしよろしかったら、地区の自治会でよろしく願いいたします。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>今回は来場者と対話型で色々考えていることを聞くことが出来た。シンポジウム等の大型の行事は実施をすること自体が大変であるし、方向性をつけるのには良いが、地域住民の一人ひとりまで十分に説明することが難しい。また、具体的な自治会程度での地形や状況まで説明することも難しい。</p> <p>今後、関係機関とも調整しながら、災害時に地域や個人がいかに対応するかについて、伝える方法を検討していきたい。</p>


17. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成 21 年 12 月 12 日(土)

17.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	長岡京市環境フェスタでの河川レンジャー広報ならびに水害防災ミニ講座の実施		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー柳沼レンジャー	
開催日時	平成 21 年 12 月 12 日(土)9:30～15:30(準備等 9:00～17:00)		
参加人数	来場者数	800 名	主催者発表
	ブース来訪者	250 名	
	河川レンジャー	1 名	柳沼レンジャー
	出張所 運営事務局	2 名 1 名	栗林所長、本田係長
スケジュール	<p>9:00 スタッフ打ち合わせ・展示開始</p> <p>9:20 ブース展示のようす(その 1)</p> <p>9:21 ブース展示のようす(その 2)</p> <p>9:24 会場内の全景</p> <p>10:08 市長・環境政策推進監の訪問</p> <p>10:08 市会議長の訪問と説明</p> <p>10:15 子どもへの応対</p> <p>9:51 市会副議長の訪問と説明</p> <p>10:52 市会議員の訪問と説明</p> <p>14:00 防災大道芸演技</p> <p>15:30 終了・撤収開始・レンジャーブース、全体ブース</p> <p>17:00 終了・撤収</p>		
実施場所 長岡京市中央公民館			

17.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>その他 市民だより記事等 新聞行事告知・報告記事</p> <p>行事チラシ 表 行事チラシ 裏</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>長岡京市・長岡京市環境の都づくり会議 会場の提供 必要物品(展示用ボード、団体表示パネル、机等)の貸与 乙訓土木事務所 必要資料の提供(上記川遊び普及チラシ等) 淀川河川事務所 必要物品(レンジャーパネル)の提供 必要資料の提供(上記レンジャー通信等)</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 企画書等作成 スタッフ依頼、打合せ 必要物品の準備 展示パネル・小道具等作成 配布資料作成 物品手配・運搬 各関係機関との調整 企画案検討・調整 展示内容等検討 活動の実施 展示ならびにレンジャー活動・河川概要等解説 ミニ講座実施 事後対応(礼、行事報告書作成) レンジャー間連携活動広報 クリーン大作戦 広報調整・広報</p>

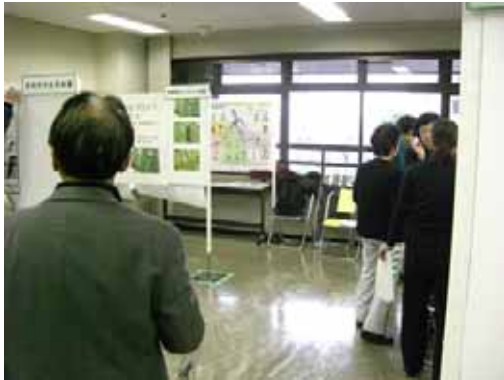
17.3 活動状況



ブース展示(展示右 各レンジャー展開・連携)



ブース展示 (展示左・正面 レンジャー制度解説・担当レンジャー活動)



9:24 会場内の全景。奥のブースを担当。



10:08 市長・環境政策推進監の訪問



10:08 市会議長の訪問と説明



10:15 子どもさんへの対応



9:51 市会副議長の訪問



10:52 市会議員の訪問

17.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>レンジャーって何ですか。 レンジャーさんて、何してる(どんな活動をしている)人なの。 (レンジャーは)たくさんいるねー。 わたしん所の自治会にも(防災普及に)来てほしいわねー。 わたしの地域で、柳沼さんの活動(レンジャー任命以前に市防災担当の参加で、普及行事をした)もあり、ようやく自主防災会が出来た。 地域でいきなり水害普及行事だとなみんなの意見調整が大変で、主催をどうするかはこれからだけど、その時は何とか来てほしい。 わたしのゴミが小畑川や五間掘(川)から桂川に流れるわけですね。 (防災大道芸は)わかりやすい。簡単に見ることができる。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>この活動は基本的に地域住民の地域河川に関する意識向上のための一般市民・住民対象の行事である。 報告者としては河川に関して普及するためには、一般的な河川の楽しさと怖さを知ってもらう為の「全市民向けの学習や遊びの内容」と河川沿岸自治会住民が「この川は自分らが守る」という意識を普及するための、「沿岸自治会向け」内容の双方があると考えている。 今回のような行事は広く市民に広報し知ってもらい、流域内でレンジャーや河川の知名度が高まり、話題となり、活動の評価が高まるという面もある。しかし、この行事のみでは市民が実際に河川の事を「自分たちのもの・自分たちに関わりがあるもの」として考えられるかということ、なかなか難しい現実もある。 河川に関して理解者を増やすためにも、この活動と対になる「沿岸自治会等対象の地域限定型河川普及行事」の両方を組み合わせて展開していきたい。</p> <p>なお、このレンジャー活動報告の書式であるが、「行事の趣旨」の部分を記載する面がない。2009年度年間計画書には記載されているが、報告書には記載されない。行事の活動内容と企画意図を比較して検証するためにも、改めて行事趣旨の記載を検討する必要があるのかもしれない。</p>

18. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成 22 年 1 月 17 日(土)

18.1 実施状況

< テーマ: 防災訓練に行ってみよう 市のテーマ >

テ ー マ	長岡京市総合防災訓練での河川レンジャー広報ならびに水害防災ミニ講座の実施		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー 柳沼レンジャー	
開催日時	平成 22 年 1 月 17 日(日)12:45 ~ 15:30(準備 11:30 ~ 16:30)		
参加人数	参加総数	200 名	
	一般参加者	20 名	ブース訪問者
	河川レンジャー 運営事務局	2 名 1 名	柳沼 R、崎谷 R
講 師	柳沼宣裕	(河川レンジャー)	
スケジュール	<p>11:30 会場集合・スタッフミーティング・展示準備</p> <p>12:51 ブース展示状況と訪問者</p> <p>13:13 スタッフミーティング</p> <p>13:39 長岡京消防署による高層階救助訓練</p> <p>13:39 訓練会場全景</p> <p>14:00 市婦人防火クラブ連合会による炊き出し訓練</p> <p>14:00 日本赤十字社京都府支部による心肺蘇生訓練</p> <p>14:01 市による非常時トイレ訓練</p> <p>14:02 長岡京消防署による煙体験ハウス訓練</p> <p>14:04 長岡京消防署による地震体験訓練</p> <p>14:05 長岡京消防署による消火器体験訓練</p> <p>14:34 レンジャーによる防災ミニ講座(防災大道芸)</p> <p>14:37 ブース訪問者その 1</p> <p>14:42 ブース訪問者その 2</p> <p>15:30 終了</p> <p>16:30 関係者挨拶・会場撤収</p>		
実施場所 長岡京市 長岡第十小学校			

18.2 事前活動

<p>各種配布資料</p>	 <p>その他 市民だよりによるレンジャーの展示に関する掲載</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>長岡京市 活動助言、市民だより等によるレンジャー参加広報、会場準備、場内放送による展示案内・活動宣伝、配布物等配布協力</p> <p>淀川河川事務所 配布物の提供 広報用品等の貸与</p> <p>滝ノ町自治会 配布物の配布協力</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災ミニ講座(防災大道芸)を行い、防災の普及に努めた。 ペットと防災・避難について 今後、災害の避難期、復旧期に確実に課題となってくる「ペット問題」について、個人でできる対策と地域での対策や合意形成の必要性についてわかりやすく解説説し、普及を行った。 2 河川レンジャー活動の普及 会場内での展示、資料配布、解説などにより、河川レンジャーの活動を説明し、理解者や行事参加者希望者を増やした。 また、今回は流域連携として他のレンジャー主催行事の案内も行き、桂川と支川とのかかわりについても普及を行った。

18.3 活動状況



12:51 ブース展示状況と訪問者



13:13 スタッフミーティング



13:39 消防署による高層階救助訓練



13:39 訓練会場全景



14:00 婦人防火クラブ連合会による炊き出し訓練



14:00 日本赤十字社京都府支部による心肺蘇生訓練



14:01 市による非常時トイレ訓練



14:02 長岡京消防署による煙体験ハウス訓練



14:04 長岡京消防署による地震体験訓練



14:05 長岡京消防署による消火器体験訓練



14:34 レンジャーによる防災ミニ講座



14:37 ブース訪問者その1



14:42 ブース訪問者その2

18.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>面白くて解りやすい。 すこし、賢くなった。市内の行事というか、お祭りの時とかに出てきたら。 あーら、レンジャーさん、環境フェアの時も来て、今回も。(説明してる内容の話がわかりやすいわねー。 わたしの家では動物を飼っていないけど、飼ってる人の気持ちを考えたら大きな問題なのかもしれない。なにか、考えておかなければいけない課題だと思った。 レンジャー返事・・・この問題はこれからの避難の課題を考えると、必ず大きな問題として持ち上がってきます。場合によっては動物の飼い主と、動物が嫌いな人の間で、大きな騒動に発展します。また、新潟の地震の時のように、「避難所を出て(いられなくて)自宅に帰ってしまう」という選択をする人も出てきます。そのあたりも含めて、避難所となる校区で、校区全体で考えるような機会を作っていけるように考えていかなければなりませんね。 避難所を運営するための会議って レンジャー返事・・・実は、避難所の運営は災害が起こったときに急に話し合っても大きく混乱します。そして、避難所の開設や運営開始自体が遅れて、避難所がより混乱することが予測されます。避難してきた人を、特に、災害弱者といわれる方々を早く、安全に収容するためにも、事前の対応策というか、合意形成、つまり、「このあたりなら何とかお互い我慢できる」という事前の納得がとても大切です。 それで、事前に会議をしておくのです。今ちゃんと地域にある様々な活動と組み合わせさせて楽しく出来れば、スムーズにいきます。場合により、自治会単位ぐらいで試験的にペットの飼い主さん同士が行うのも「みそ」ですよ。川べりはペットの散歩をする人が多いですから、お互いに顔見知りも多いんですよ。そんな人たちが声を掛け合って企画するのも面白いですよ。 それと、進行や調整にはプロや慣れた人が必要ですから、日程が合えば河川レンジャーが調整役として伺うこともできますよ。 レンジャーさん、せっかくの「面白い大道芸」なんだから、こんな端じゃなくて、もっと校庭に出かけてやりなさい。場所、全然取らない(広いスペースを使わない)ようだし。 レンジャー返事・・・いやー、せっかく用意していただいた場所ですし、今、校庭に出たら、いろいろ混乱しますんで、やっぱりここでやってみます。 各方面から、年を追うごとにいろいろ助けてもらっていますし、来年はもっと良くなりますって。ほら、今年は市民だよりに「レンジャーが出る」って書いてあったでしょう。少しずつ理解してもらってるんですって。 ネコの背中に入れて(挿入しておいて)、いざっていう時のそのマイクロチップっていうのはいくらぐらい。それと何か安くなる方法はあるんですか。 レンジャー返事・・・値段は4000円から5000円ぐらいです。動物病院さんで聞いてください。それと、市町村によっては付けるのに補助があるところもあります。長岡京市では、以前議会でノラ猫のこととか地域でネコの面倒をみるという地域猫のこととかが話題になったようです。「愛玩動物という面(視点)」から、人によっては「生活の伴侶」の場合もあるということが、少しずつ議論され始めているようです。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>防災大道芸を見た人からは「面白く、解りやすく、ためになる」との意見であったが、会場の導線の制限等があり、今回はあまり十分な展開が難しかった。今回は市民だよりに乗せていただいたり、場内放送で何度も宣伝していただいたりと少しずつ理解や協力の内容を広げていただいている。今後とも主催部局の方々と十分に連絡を取り合い、よりよい展開方法について打ち合わせを行い、さらなる向上を目指したい。</p>




19. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成 22 年 1 月 28 日(木)

19.1 実施状況

< テーマ:人と水の関わりの歴史 >

<p>テ ー マ</p>	<p>第 47 回環境教育ミーティング 実施は主催者からの依頼による 幻の都、長岡京だから始まる「小畑川・小泉川まちごと博物館」への挑戦 “乙訓郡域って、大～っきな川と歴史と文化の博物館だったんだ !!”</p>																
<p>担 当</p>	<p>桂川出張所管内</p>	<p>河川レンジャー 柳沼レンジャー</p>															
<p>開催日時</p>	<p>平成 22 年 1 月 28 日(木) 19:00～21:00 準備等 18:00～21:20</p>																
<p>参加人数</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="368 463 632 497"> <p>参加総数</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="636 463 1455 497"> <p>30 名</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 504 632 537"> <p>一般参加者</p> </td> <td data-bbox="636 504 738 537"> <p>24 名</p> </td> <td data-bbox="743 504 1455 537"> <p>柳沼レンジャー</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 544 632 577"> <p>河川レンジャー</p> </td> <td data-bbox="636 544 738 577"> <p>1 名</p> </td> <td data-bbox="743 544 1455 577"> <p>長岡京市環境の都づくり会議、長岡京市役所</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 584 632 618"> <p>協力スタッフ</p> </td> <td data-bbox="636 584 738 618"> <p>3 名</p> </td> <td data-bbox="743 584 1455 618"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 624 632 658"> <p>運営事務局</p> </td> <td data-bbox="636 624 738 658"> <p>2 名</p> </td> <td data-bbox="743 624 1455 658"></td> </tr> </table>		<p>参加総数</p>	<p>30 名</p>		<p>一般参加者</p>	<p>24 名</p>	<p>柳沼レンジャー</p>	<p>河川レンジャー</p>	<p>1 名</p>	<p>長岡京市環境の都づくり会議、長岡京市役所</p>	<p>協力スタッフ</p>	<p>3 名</p>		<p>運営事務局</p>	<p>2 名</p>	
<p>参加総数</p>	<p>30 名</p>																
<p>一般参加者</p>	<p>24 名</p>	<p>柳沼レンジャー</p>															
<p>河川レンジャー</p>	<p>1 名</p>	<p>長岡京市環境の都づくり会議、長岡京市役所</p>															
<p>協力スタッフ</p>	<p>3 名</p>																
<p>運営事務局</p>	<p>2 名</p>																
<p>スケジュール</p>	<p>18:00 集合・会場準備・中央公民館長挨拶に来場 18:30 受付・配布資料印刷 19:00 講演開始(主催者 行事担当者[長岡京市環境の都づくり会議副代表]挨拶) 柳沼レンジャーによる資料(パワーポイント)を使用して 川レンジャーとは 桂川右岸域・小畑川流域の流域概要 (桂川・小畑川・小泉川・西羽師川等) (流域における)水と人との関わり 流域における水害発生 of 地理的、工学的、社会的理由 水の流れと住民の経験・記憶を防災教育・地域活性化に活用するという事 等の内容による講演 20:10 休憩 20:15 質疑応答・参加者との意見交換 20:55 閉会挨拶(主催者[長岡京市環境の都づくり会議代表]) 21:00 河川レンジャー連携活動紹介(桂川クリーン大作戦) 終了</p>																
<p>実施場所</p>	 <p>The map shows the location of the Nagaoka City Central Citizen Hall (長岡京市中央公民館) in Nagaoka City. The venue is marked with a red circle and a yellow callout box. Surrounding landmarks include the Nagaoka River (八条ヶ池), various schools, and commercial buildings.</p>																

19.2 事前活動

<p>各種資料</p>	   <p>市内諸活動資料等 レンジャー関係資料</p> <p>行事案内チラシ</p> <p>配付資料</p> <p>他に市民だよりによる広報、「京都新聞ミニミニ乙訓」による広報等々</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>長岡京市中央公民館 広報 市民だより掲載 会場・講演関連資材提供 配布資料印刷 長岡京市環境の都づくり会議 広報 ちらし作成、ちらし・ネットによる広報、その他広報 会場準備、司会進行 報告書作成、関係機関配布、関係機関説明 長岡京市 会場準備、参加者受付等協力 淀川河川事務所 パネル等の貸出 必要配布物の提供 記録者等派遣</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 企画書等作成 関係者依頼・打合せ 必要物品の準備 パネル・文具等借り入れ 配布資料作成 配布資料印刷 関係機関との調整 企画案検討・調整 打ち合わせ 活動の実施 当日の講演 意見・感想とりまとめ パネル・文具等返却</p>

19.3 活動状況



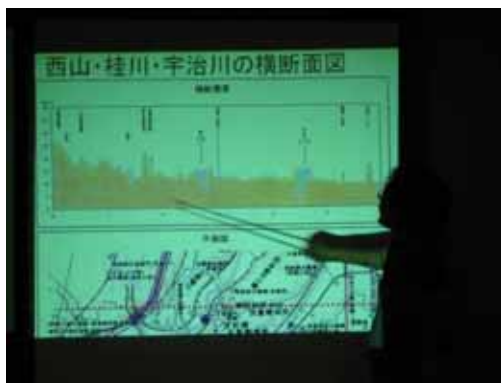
会場準備



主催者挨拶(開会)



講座の様子



講座の様子



講座聴講の様子



意見交換



主催者挨拶(閉会)



レンジャー連携活動紹介

19.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>当日の質疑応答から</p> <p>子どもに地元の事を伝えたいが、何を伝えていいのか分からない。わかりやすく伝えてもらい、あり難い。</p> <p>馬場地区に住んでいますが、川に親しむために何をすればよいのか、私たちの川にかかわる義務は何か。</p> <p>A まず川を利用してください。水遊びや虫さがしからでもいいですし。河川の中にピオトープを作ったり、河川を面倒を見たりするには、どうすればよいのか。</p> <p>A いつも使っていれば河川の管理者も利用者を見捨てなくなり、実績を作ってください。もちろん、良い使い方。小畑川だと京都府の乙訓土木さん(が担当)になります。</p> <p>学校で川遊びを禁止したり、校区外へ行くことを禁止したり。学校も川遊びには慎重。</p> <p>A 危ない体験をしてみないと危険から逃げたり、回避する方法も身につけません。どんどん遊べるような仕掛けづくりを。もちろん学校の理解促進や、協力体制の構築の課題もあります。そのうえで怖い川とかも理解してもらいたい。今後、学校とどう連携していくかも課題です。</p> <p>遊びたくても水量と水質の問題が。上流部で下水の水が入っていると聞か。</p> <p>A 上流の京都市域でもすべて下水道が入って(敷設されて・接続されて)います。ただ、農業用の水とか、庭とかで使った薬品等の水や自動車のタイヤの水とかが新しい汚染の原因となっています。それらは今後の課題です。昨年、河川レンジャー以外の立場で乙訓土木さんなどと水循環のプロジェクトチームを作りました。来年度は京都府の小畑川活性化のプロジェクトが少しずつ動き出すはず。今後、山岳部に設置されている、流域下水道以外の下水道の効果の説明も必要かもしれない。</p> <p>アユが泳ぐようになれば。</p> <p>A やはり水質、水量がほしい。大きな課題であるが、少しずつ。市民が河川と関わりを。すぐには動きません。</p> <p>関わりを持つとも、仕事もあり、4歳の娘を食べさせるのにそんなに川に行けない。毎日通勤で川は見ているが、川や環境分野の雇用が問題。レンジャーで食べられるのか。</p> <p>A レンジャーで食べられません。わたしも普段は別な仕事をしています。レンジャーでもらうお金は、交通費以外の他の部分も出ますが、(電話の連絡日やその他の打ち合わせ等々の)レンジャー活動にかかわる様々な事で飛んで行ってしまいます。現時点では専門的なプロは難しいようです。</p> <p>行事後に提出された感想文から 帝塚山大学西村教授編集</p> <p>1 長岡には長岡京時代からの多くの史跡がありますが、小畑川、小泉川にも川に関わる多くの歴史のあることを知りました。また本当に多くの文化の博物館の中で生きていることを知り、大変興味深く聞くことができました。今、市民活動の必要性がよく言われますが、柳沼さんの活動を拝見して、市民の活動の大切さと、行政ではできないことを市民が行うことの重要性を知りました。</p> <p>今日のミーティングの討議の時、文化の継承の必要性が多くの方から話されました。今日のような大切な事柄は、例えば学習教本など書類としてきちりマニュアルにして子どもたち(次々世代)に伝えることが出来ればいいと思いました。</p> <p>2 長岡京市に住んでいますが、川に対する知識も乏しく、また家から離れていることもあり、どこか余所ごとの様に感じていました。しかし、話を聞いて現在に至るまで、様々な苦労があったことを知りました。こういった経験を次の世代に伝えていくことの必要性を感じました。ただ、川は、難しい話ばかりではなく、自分がそうであったように、泳いで遊んだ、楽しい場所でもあるし・・・、これからもそういった場所であって欲しいと思います。</p>
-----------------	--

3 水防について、全部新しい設備や技術にたよるのではなく、古い排水路やサイフォンなどの設備や水防ソフト技術が今も有効に機能するか点検整備し、引き継いでいかないといけないと思いました。これはエネルギーでも同じで、全部石油、ガス、電気に頼るのではなく、薪や炭も一部どこかで使うべきだと思います。

4 先日の「小畑川・小泉川まちごと博物館」の発表を聞く機会に恵まれて、ありがとうございました。感謝申し上げます。長岡京市のこのような催しに初めて参加しました。防災をテーマにしたとても重要な話で、興味を持って聞く事ができました。

でもこれを一般の人達に周知させるには、楽しい取組みや仕掛けが必要です。たとえば川遊びできる安心・安全な環境をどのようにして取り戻すかです。そのために今年1月から参加している生活会議のメンバーと、身近で汚れている小川などの浄化活動を進めて行きたいと考えています。EM(有用微生物群)を活用した河川や海の浄化が全国で広がっていますので、それを参考にしながら、楽しみながら、輪を広げて行きたいと思います。

5 京都市や八幡市の一部も含む「旧乙訓郡域」は、古都「長岡京」市街域ともかぶさる広大な領域で、そのほぼ中心を小畑川が流れていたような。

ヒゲの先生のお話を伺っていると、一気に西暦790年頃、平安京が造営される前のこの地の風景を想像してしまったのは私も長岡に住みついて長くなる為かもしれない。「まちごと博物館」というタイトルはまた、お話を聞くまでは正直ピンと来なかったが、終りの頃にはこれは大変面白い発想ではと感じ出しました。

“日本のシュリーマン”中山修一先生の遺志を継いで、「長岡京まちごと博物館」、or「小畑川・小泉川まちごと博物館」といったものが市民手作りで作り上げることができれば素晴らしいと感じた次第です。博物館といっても大きな箱物を作ろうというわけではありません。みんなで知恵とアイデアを出し合って、既にあるハードを最大限利用して、ソフトを中心にしたもの(例えば3次元CD等)で良いのではと手前勝手に夢が浮かびました。スリムになった柳沼先生が騎馬に乗って河川レンジャー活動している様子も見られるとよいですね。

6 歴史と豊かな自然を併せ持つ長岡京市ならではの“まちごと博物館”構想地域力の向上には最善のアイデアと感動しました。長岡京に住まわれて5年ほどの短期間に、専門とはいえここまで、まちのことを知りつくし行動するバイタリティとコーディネーター力には感服です。今話題の人 坂本竜馬を思い浮かべました。

山あり里あり川ありのわが町長岡京の良さを私自身がもっと実感し、身近な友人に話っていて“まちごと博物館”を自覚した楽しいお話でした。

7 川を町興しの資源に、更には、川を含めて街ごと博物館に、は素晴らしい。しかし「危険ですから川では遊ばない」旨の看板が立っている。いつ頃から川は危険なところになってしまったのだろうか。危険でないところはどこなのだろうか。

昨年の夏、小畑川で4、5人の子ども達(小学生?)が泳いでいた。地域の大人は注意をした。私も学校へ通報した。しかし、どうもすっきりしない。放っておけないが、危険だからといって、何もかも禁止してしまえば、子どもは行き場をなくしてしまう。下の写真は小畑川の井ノ内橋附近に立てられている看板だ。「あぶない」と書かれている。

川は確かに地域資源だ。川・町ごと博物館、あるいはエコミュージアム構想はワクワクする。

添付写真省略

今後の課題

次の段階への移行期の課題・・・組織として、個人としての足腰の弱さ

先日、連絡があり、環境の都づくり環境教育担当(帝塚山大学教授)が作成した今回の行事の報告書が市内の校長会で配布され、議論され他とのことです。その後、市内450名の全教員にも配布されることが決まったとのことでした。

そうすると、今度はこれらの件で、河川レンジャーの活動として、次の段階に進まなければなりません。次はいかに市民、特に川遊びの経験がない保護者や、野外での遊びに対して慎重な層に対しての合意形成も必要となりますし、それと並行して教員向けの座学と実技を実施していくかという課題も生じます。

ところが、現実は何年もかかって河川にかかわる仲間知らせて、流域を活用した、夢というか大風呂敷を広げて、非常に幅広く・深く普及したのはいいけれど、河川レンジャーがその後の展開を拡充できないのではないかという課題も起こりえるようです。もともと所属している地域の団体内での河川ファン増加もこれからで、寝屋川市、高槻市、木津川市レベルになるにはこれからです。

また、質疑応答でやり取りされたように、現実的な時間や生活の課題も出てきます。これあたりが課題となると考えられます。

かわみと講演の関係をいかに評価するか

河川レンジャー本部の掲げる目的は「市民を河川に親しんでもらう」、「川のファンを作る」ということですが、それを続けていると、その先にどうしても出てくる市民の考えは、川を「自分たちのものとして、自分たちのこととして考える」となるのが本筋となると思われます。そうでないと、川は、いつまでたっても、「行政が管理する、わたしたちの遊び場」で終わってしまいます。

河川レンジャーの活動に「都市にすむ多くの人に川の良さを伝える」というものもあります。もちろんそれも大事です。しかし、それとともに、川沿いにすむ人々が「わたしの川だ」とか「これが切れたらわたしのくらしが立たん」と思ってもらえるような活動展開という普及活動の手法が必要なのでないでしょうか。

そのために、わたしの手法は「かわみ」で見つけた、流域や町内の施設や河川形状、出来事、内容を「講演」へとつなげるという流れをなしています。講演の写真はすべて生のものですし、行政が把握していない、または、現時点で資料がないために場所が・建設設置時期が・意味がわからないという内容ばかりです。そのようなことを発見して活用してきたのです。そして、1年か2年ごとに新しくやってくる河川管理者や防災担当者を含め、一緒に川歩きをして、説明を続けてきたのです。

ソフト型河川対策にかかわる評価手法・人材の確立・育成・検討を

わたしとしては上記のような事を踏まえながら、川づくりやソフト型の防災を考えてきました。そうすると今後必要となり事項は、短期的、長期的に、工学的に、社会的にこれらの事を「評価する仕組み」の確立でしょうか。2010年度から調査課内に住民協働の部署が出来るということですが、そのようなことを考えてよいかもしれません。わかりやすく言うと、ソフト型の評価軸の確立と、それを進める事の出来る、住民協働やソフト型防災の「目利き」が出来る人材育成です。レンジャーとともに考え、住民の考えていることが理解できる、読める人材です。

府県や大きな市レベルではNPO法施行の前後からそのような体制作りを行ってきました。先進事例を行っている淀川河川事務所としては、そのような事を考えてみてもよいチャンスなのかも知れません。そして、それにより住民との摩擦は相当減少するのではないのでしょうか。また、この指標のわかりやすさは、納税者に対して支出行為を理論的に、明快に説明するためにも可能性が出てくるものとなります。

流域の基礎的な河川データの収集は・・・基礎自治体の仕事も考えられるが予算が!

現在、河川史河川に関する人、モノ、出来事・記憶・記録のデータを河川管理者として十分に蓄積できているのでしょうか。場合によっては管理者すら経緯を忘れた施設がまだまだ残っているようです。

国土交通省の「新たな公」事業と近い内容なのかもしれません。これは、地域の民俗や記憶、記録などを活用して、地域づくりに展開させるという施策です。2010年度の状況は不明ですが、このあたりが使えるのかなと考えています。ただ、展開の部分が重視されるため、基礎的な調査に関してはあまり予算がつかない課題もあります。



主催：長岡京市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館
後援：長岡京市

第47回 環境教育ミーティング

入場無

小畑川・小泉川まちごと博物館

“乙訓郡域って、大～っきな、川と歴史と文化の博物館だったんだ！！”
幻の都、長岡京だから始まる「小畑川・小泉川まちごと博物館」への挑戦

日時：平成22年1月28日（木） 夜7～9時

国土交通省 淀川河川事務所管内 河川レンジャー

発表：柳沼宣裕さん

会場：長岡京市立
中央公民館
講座室(2階)



【プロフィール】

- ◎ 団体職員、広告代理店営業職、国立マレーシア北大学人文・教育学部主任教師を経て、水害史や地域学研究があった京都精華大学大学院に入学。修了後、主に水害を中心としたソフト型防災の普及活動に努めている。
- ◎ 専門は環境社会学のなかの「水害史の発掘と伝達」つまり「水害防災の普及とまちづくり」。大学院在学中、国土交通省淀川河川事務所の「三世代交流型水害史調査」で大阪市西淀川区や小畑川・小泉川の担当者となった。
- ◎ 桂川・淀川スイボーズ 事務局長
- ◎ 洪水警報等が出た時には水防団の「見習い」
- ◎ 一般財団法人 地域公共人材開発機構

お話しの内容

幻の都と呼ばれ、長い間歴史に埋もれていた長岡京。日本のシュリーマンと呼ばれた中山修一先生のたゆみない努力によって発掘・証明されました。

現在、都の骨格とも言うべき小畑川・小泉川・犬川と様々な歴史や生活史を軸に、地域・学校・行政・NPOが協力した、「まちごと防災探検隊」が実施されています。歩いてわかった自分たちのまちの不思議の数々。この行事が自分のまちの再発見を含めて、次にどう面白く展開していくかについてお話ししてみます。

あなたの校区の自慢のモノや出来事も必～づ出てきますよ。あ、長岡京の範囲は淀の競馬場まで！もちろん桂川右岸沿いの伏見区久我、鴨川、志水、古川、樋爪、水垂、大下津、対岸の納所等の京都市域、大山崎町下植野なども出てきますよ。

感想をお寄せ下さい

プロジェクト・リーダー：西村日出男
Fax：075-952-3718
sun246ra@mbox.kyoto-net.or.jp

環境教育ミーティング あゆみ

- 第1回 5月25日(土)2002
西規文 「総合的な学習の時間における環境教育」
鶴野高資 「市民環境会から環境の帯づくり会議へ」
- 第2回 7月27日(土)2002
「静かなる革命」ビデオ上映
平岡信之 「CO₂から見えてくる地球の未来」
奥谷三徳 「21世紀型『トゲ』プロジェクト」
- 第3回 9月28日(土)2002
吉岡学 「学校における環境教育」
宗接元信 「農業を通して考える地域環境」
- 第4回 11月30日(土)2002
芦生光夫 「中学校における環境教育」
山本美津子 「一人立つ精神で町の美化を推進」
- 第5回 1月25日(土)2003
村上薫 「省エネ共和国を建国しました」
梅田真 「小泉川の生き物に關わって」
- 第6回 3月29日(土)2003
西本雅則 「京都福知山地域におけるCO₂削減」
橋本知之 「壁と砂防が、坂川の砂防工事のお話」
- 第7回 5月31日(土)2003
井本彰 「小さな隣人たち~小畑川の野鳥」
小根田勝信 「紙芝居による環境の過去と未来」
- 第8回 7月26日(土)2003
江川宗治 「わさんプロジェクト・太陽光発電所の設置」
木原浩貴 「地球温暖化防止と自然エネルギー利用」
- 第9回 9月27日(土)2003
井上巖 「よりよき自然環境を願う私の意見」
永田健一 「水の学習を通して」
- 第10回 11月29日(土)2003
小田豊(長岡京市長)
「長岡京市の環境行政について」
芦田富男(長岡京市教育長)
「長岡京市の環境教育行政について」
- 第11回 1月31日(土)2004
吉岡信尋 「環境教育を通して考える生命の尊厳」
- 第12回 3月27日(土)2004
田口利久 「デンマークの風力発電」
尾崎百合子 「楽しい西山自然教室」
- 第13回 5月22日(土)2004
北濱政且 「わが家のISO環境」
野村克己 「地球憲章と環境教育」
- 第14回 7月24日(土)2004
小山正博 「旅先で見た環境活動」
橋本道広 「公民館と環境教育」

- 第15回 9月25日(土)2004
遠藤武男 「企業における環境活動」
西村日出男 「道徳授業における環境教育」
- 第16回 11月27日(土)2004
高橋由紀子 「子どもたちの保育環境と共育」
岡敏明 「自然科学と環境教育活動」
- 第17回 1月29日(土)2005
杉谷保憲 「竹・たけのこ・竹取物語」
真継壽男 「長岡京市環境基本計画のお話し①」
- 第18回 3月26日(土)2005
上田正幸 「水循環と雨水利用」
真継壽男 「長岡京市環境基本計画のお話し②」
- 第19回 5月28日(土)2005
荒木康孝 「バイオディーゼル(植物燃料)」
栗津達雄 「長岡京市環境基本計画のお話し③」
- 第20回 7月30日(土)2005
小川修司 「企業から見たたけのこ畑」
加藤克巳 「長岡京市環境基本計画のお話し④」
- 第21回 9月29日(木)2005
高山栄 「きのこの話し」
古谷和子 「長岡京市環境基本計画のお話し⑤」
- 第22回 11月24日(木)2005
上森英孝 「京都市に於ける廃食用油からの
バイオディーゼル化事業」
長谷川正昭 「長岡京市環境基本計画のお話し⑥」
- 第23回 1月26日(木)2006
田中弘樹 「海遊館における環境教育」
真継壽男 「長岡京市環境基本計画のお話し⑦」
- 第24回 3月23日(木)2006
太田航平 「『脱・使い捨て』宣言」
- 第25回 5月25日(木)2006
田中利宏 「環境教育と人権」
- 第26回 7月20日(木)2006
山本美由紀(京都環きょうみらい会議)
「学校、企業、NPO、大学、行政機関(府、
市町)が連携して推進する環境学習」
- 第27回 9月21日(木)2006
高田稔弘 「生ゴミの画期的処分法(生ゴミ
好気性発酵分解資材・容器について)」
- 第28回 11月30日(木)2006
木本直樹 「長岡京市のごみの現状と課題」
- 第29回 1月25日(木)2007
栗山裕子 「木材から見た環境・近く
の木で住まいを作ろう」
- 第30回 3月22日(木)2007
今西二郎 「森林が身も心も癒す」

- 第31回 5月24日(木)2007
伊豆優子 「企業と創る環境学習」
(民間研修の学びを生かして)
- 第32回 7月26日(木)2007
中村修・藤下光伸 「西山の森林保全活動」
- 第33回 9月27日(木)2007
太田伸彦 「メー日が除草作業(ヤギの飼育日記)」
- 第34回 11月29日(木)2007
渋谷和義 「ゴミは宝の山」
- 第35回 1月31日(木)2008
高屋雅光 「企業における環境保全の取り組み」
- 第36回 3月27日(木)2008
野村和吉・小長光義紀 「ゴミ減量に
向けて~一般廃棄物とソルビオ」
- 第37回 5月29日(木)2008
長屋博久 「服育と環境教育」
- 第38回 7月24日(木)2008
松岡裕司・小森信幸
「教育環境と環境教育」
- 第39回 9月25日(木)2008
小西康公 「ライフスタイルと環境教育」
- 第40回 11月20日(木)2008
戸田雄一郎 「待たなしの環境問題」
- 第41回 1月22日(木)2009
玉井伸男 「地球温暖化問題に対する
電力会社の取り組み」
- 第42回 3月26日(木)2009
田原誠一郎 「科学あそびと環境」
- 第43回 5月21日(木)2009
加藤善朗 「お濠の環境と未来」
- 第44回 7月23日(木)2009
吉岡学 「エネルギー環境教育」
- 第45回 9月17日(木)2009
堀孝弘 「各地で進むレジ袋の有料化・
長岡京市、市民はどうする？」
- 第46回 11月19日(木)2009
平岡信之 「勝竜寺の水害学習における
エネルギー環境教育」
- 第47回 1月28日(木)2010
柳沼宣裕 「小畑川・小泉川、
まちごと博物館」
- 第48回 3月25日(木)2010
野村克己 「世界のエコパス」(仮)

<環境教育ミーティング>まもなく50回!

M E E T

Miyako Environmental Education Times

発行：環境教育プロジェクト

平成22年(2010年)3月1日(月)

第47回「環境教育ミーティング」を長岡京市の後援をいただき、1月28日(木)に長岡京市立中央公民館で開催しました。幻の都と呼ばれ、長い間歴史に埋もれていた長岡京。日本のシュリーマンと呼ばれた中山修一先生のとゆみない努力によって発掘・証明されました。

現在、都の骨格とも言うべき小畑川・小泉川・犬川と様々な歴史や生活史を軸に、地域・学校・行政・NPOが協力した、「まちごと防災探検隊」が実施されています。歩いてわかった自分たちのまちの不思議の数々。この行事が自分のまちの再発見を含めて、どう面白く展開していくかについて話されました。

参加者の校区の自慢のモノや出来事もいっぱい出てきました。

参加者の感想

1

長岡には長岡京時代からの多くの史跡がありますが、小畑川、小泉川にも川に関わる多くの歴史のあることを知りました。また本当に多くの文化の博物館の中で生きていることを知り、大変興味深く聞くことができました。

今、市民活動の必要性がよく言われますが、柳沼さんの活動を拝見して、市民の活動の大切さと、行政ではできないことを市民が行うことの重要性を知りました。

今日のミーティングの討議の時、文化の継承の必要性が多くの方から話されました。今日のような大切な事柄は、例えば学習教本など書類としてきっちりマニュアルにして子どもたち(次々世代)に伝えることが出来ればいいと思いま

した。

2

長岡京市に住んでいますが、川に対する知識も乏しく、また家から離れていることもあり、どこか余所ごとの様に感じていました。

しかし、話を聞いて現在に至るまで、様々な苦労があったことを知りました。こういった経験を次の世代に伝えていくことの必要性を感じました。

ただ、川は、難しい話ばかりではなく、自分がそうであったように、泳いで遊んだ、楽しい場所でもあるし・・・、これからもそういった場所であって欲しいと思います。

3

水防について、全部新しい設備や技術にたよるのではなく、古い排水路やサイフォンなどの設備や水防ソフト技術が今も有効に機能す



るか点検整備し、引き継いでいかないといけないと思いました。これはエネルギーでも同じで、全部石油、ガス、電気に頼るのではなく、薪や炭も一部どこかで使うべきだと思います。

4

先日の「小畑川・小泉川まちごと博物館」の発表を聞く機会に恵まれて、ありがとうございます。感謝申し上げます。

長岡京市のこのような催しに初めて参加しました。防災をテーマにしたとても重要な話で、興味を持って聞く事ができました。

でもこれを一般の人達に周知させるには、楽しい取り組みや仕掛けが必要です。たとえば川遊びできる安心・安全な環境をどのようにして取り戻すかです。そのために今年1月から参加している生活会議のメンバーと、身近で汚れている小川などの浄化活動を進めて行きたいと考えています。EM(有用微生物群)を活用した河川や海の浄化が全国で広がっていますので、それを参考にしながら、楽しみながら、輪を広げて行きたいと思いません。

5

京都市や八幡市の一部も含む「旧乙訓郡域」は、古都「長岡京」市街域ともかぶさる広大な領域で、そのほぼ中心を小畑川が流れていたそう。

ヒゲの先生のお話を伺っていると、一気に西暦790年頃、平安京が造営される前のこの地の風景を想像してしまっただけは私も長岡に住みついて長くなる為かもしれない。

「まちごと博物館」というタイトルはまた、お話を聞くまでは正直ピンと来なかったが、終りの頃に



はこれは大変面白い発想ではと感じ出しました。

“日本のシュリーマン”中山修一先生の遺志を継いで、「長岡京まちごと博物館」、or「小畑川・小泉川まちごと博物館」といったものが市民手作りで作り上げることができれば素晴らしいと感じた次第です。博物館といっても大きな箱物を作ろうというわけではありません。みんなで知恵とアイデアを出し合って、既にあるハードを最大限利用して、ソフトを中心にしたもの(例えば3次元CD等)が良いのではと手前勝手に夢が浮かびました。

スリムになった柳沼先生が騎馬に乗って河川レンジャー活動している様子も見られるとよいですね。

6

歴史と豊かな自然を併せ持つ長岡京市ならではの“まちごと博物館”構想

地域力の向上には最善のアイデアと感動しました。

長岡京に住まれて5年ほどの短期間に、専門とはいえここまで、まちのことを知りつくし行動するバイタリティとコーディネーター力には感服です。

今話題の人‘坂本竜馬’を思い浮かべました。

山あり里あり川ありのわが町長岡京の良さを私自身がもっと実感し、身近な友人に話して行って“まち

ごと博物館”を自覚した楽しいお話でした。

7

川を町興しの資源に、更には、川を含めて街ごと博物館に、は素晴らしい。しかし「危険ですから川では遊ばない」旨の看板が立っている。いつ頃から川は危険なところになってしまったのだろうか。危険でないところはどこなのだろうか。

昨年の夏、小畑川で4、5人の子供達(小学生?)が泳いでいた。地域の大人は注意をした。私も学校へ通報した。しかし、どうもすっきりしない。

放っておけないが、危険だからといって、何もかも禁止してしまえば、子どもは行き場をなくしてしまう。下の写真は小畑川の井ノ内橋附近に立てられている看板だ。

「あぶない」と書かれている。



川は確かに地域資源だ。川・町ごと博物館、あるいはエコミュージアム構想はワクワクする。

2009年度 活動概要 (参考資料) 柳沼宣裕

2010年2月24日現在

	国土交通省淀川河川事務所 河川レンジャー活動	他団体等活動 (責任者または主な活動について)	他レンジャー・団体協力 (調整が少ない、当日協力等)	特記
2009年 4月～	<ul style="list-style-type: none"> ・府災害情報訓練 見学 (かわみ) ・署団合同水防訓練 見学 (かわみ) ・河川施設等の発見 (かわみ) ※管理者が気付いていないもの ・乙訓土木事務所所長向け 流域案内 (かわみ) ・乙訓土木事務所室長、長岡京市危機管理担当・土木部 主査・自治会長向け 流域案内 (かわみ) ※自治会・管理者の知らない案件の発見 ・地域自治会向け 河川堤防説明 (かわみ・普及) ・長岡京市ふるさとガイドの会市民向け講演会 講師 「人と水のかかわりの歴史 小畑川流域の人々と水との付き合い方 恵みの水と怖い水」 ・長岡京市防災展 企画協力・展示 防災解説・聞き取り調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府庁ベンチャー水循環プロジェクト 参加 ・NPO法人京都雨水の会総会記念講演 講師 「長岡京だから始まる雨水博物館への挑戦」 ・府水循環プロジェクト職員現地見学会 講師 ・府水循環プロジェクト職員現地見学会 講師 ・長岡京市教育委員会勝龍寺企画展資料集 作成協力 ・京都府流域下水道事務所住民向け流域見学会 講師 ・京都市消防学校幹部向け水防研修 指導補助 ・長岡京市打ち水大作戦 展開協力 ・京都府流域下水道事務所水循環を考える講演会 講師 「小畑川・小泉川探検隊が行く入門編 乙訓の水の流れを探って、水や川と上手に付き合うには」 ・長岡京市西山ファミリア探検隊 川編 講師 ・府水循環プロジェクト京都府知事あて 発表 ・滝ノ町自治会行事 講師・コーディネーター ・日本土木学会防災計画研究会 発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・桂川・小畑川水防事務組合水防研修会 参加 ・桂川・小畑川水防事務組合水防訓練 参加 ・第4期京都府温暖化防止推進員 継続 ・長岡京市西山ファミリア探検隊 山編 グループ担当者 ・他レンジャー協力 マイリバーウォーク グループコーディネーター ディネーター ・長岡京竹遊び (2000本の竹明り) スタッフ 	非正規雇用期間
11月～	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府環境フェア 協力・防災ミニ講座 ・長岡京市環境フォーラム 展示・解説 ミニ講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・向日市埋蔵文化財センター現地見学会 案内・解説協力 ・神足自治会・自主防災会研修会 講師 ・(財)地域公共人材開発機構 職員自主研修会 講師 ・NPO・公共人材向け自主勉強会 講師 「巨椋池と周辺河川からみる水害の可能性 遠くにある小畑川・犬川と巨椋池はどうつながっているか」 ・京都府災害ボランティアセンター研修会 普及演技 		常勤期間 (一般財団法人 地域公共人 材開発機構。 研修所向 京 都市景観・ま ちづくりセン ター 自治会 等まちづくり 支援)
2010年 1月～	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市総合防災訓練展示、防災ミニ講座 参加実施 ・長岡京市環境の都づくり会議・長岡京市中央公民館共催 環境ミーティング講師 「幻の都 長岡京だから始まる小畑川・小泉川まるごと博物館への挑戦」 ・自治会対象河川概要説明 (かわみ・普及) ・自治会対象河川美化行事 参加・普及 (かわみ・普及) ・各機関団体、個人等 調整 ・かわみの実施による地域資源、課題の発見 	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿子どもの水辺交流会 分科会コーディネーター 現地理解のため、近畿内6団体の河川を見下し、通信の発行 ・滋賀県淡海の川づくりフォーラム 発表 ・桂川クリーン大作戦水垂・大下津地区担当 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都雨水の会風電スタンプラリー 協力 ・子どもと川とまちのフォーラム行事 協力 	
その他 適宜		各機関団体、個人等 調整		

2009年度 研修等

	国土交通省淀川河川事務所 河川レンジャー活動	他団体等活動（責任者または主な活動について）	他レンジャー・団体協力（調整等が少なく、当日協力が近いもの）	特記
2009年 4月から	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府方潮堤開閉訓練研修 参加 河川レンジャー養成講座 参加・協力 芥川・淀川連続講座（高槻市） 研修 淀川河川保全利用委員会勉強会 参加 	<ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖・淀川流域圏交流会総会 参加 長岡京市教育委員会勝龍寺企画展説明会 参加 長岡京市教育委員会勝龍寺企画展 見学 プロジェクト保津川第2回シンポジウム 参加 中央公民館介護講座「地域の介護力UP！」 参加 （認知症・地域組織・災害） 京大防災研・岐阜大 防災計画研究会 参加協力 わたしたちをとりにまわく「水」エコリレー亀岡 参加 滋賀県伊勢湾台風50年シンポジウム参加 日本自然災害学会オープンフォーラム 参加 日本自然災害学会学術講演会 参加 京都大学防災研究所一般公開 見学 第46回長岡京市環境教育ミーティング 参加 小畑川馬場地区ワークショップ 参加計4回 		

※府水循環ベンチャープロジェクト 今後の京都府の総合水政策についての政策立案計画。基本的に限定した職員とのやり取りのため、回数は多く内容は深い。

所屬団体よりプロジェクトメンバーとして推薦される（京都 雨水の会）

※滝ノ町自治会行事「滝ノ町サロン」 講師・コーディネーター ※河川に関する不法行為の件で、これつつあった状況を「相互理解のための行事」に発展させた

※近畿子ども水辺交流会 分科会コーディネーター

6団体、100人ほどの子どもと保護者を対象にワークショップを実施。現地理解のため、近畿内に散る6団体の河川を下見。

※レンジャー・一般とも、講演内容については自治会（旧村部）ごと、市町村ごとの内容があるが、市町村範囲や自治会単位の場合、地域ごとの各河川、施設、地域（旧村）の制度を入れてある。

※防災大道芸は不特定多数の人々が来場する行事を設定しているため、市町村、府下、全国で通用するような、ある程度一般的な内容としている。現在、地域版を作成中。

※他団体活動はレンジャー活動として「種々の理由で」調整が出来なかった案件が多い。今後、河川や地域に関する上位の制度等の変更、事務所・出張所の理解によりレンジャー活動となる（国としてせざるうえなくなる）可能性もある。

※「地域からの視点」という考え方をすると他団体活動はレンジャー活動と相互に連携している。



主催：長岡京市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館

後援：長岡京市

第46回 環境教育ミーティング

入場無

勝竜寺の水害学習における エネルギー環境教育

日時：平成21年11月19日（木）夜7～9時

発表：平岡信之さん

会場：長岡京市立中央公民館
講座室（2階）

【プロフィール】

★立命館大学文学部地理学科を卒業後、向陽小学校を皮切りに向日市、長岡京市、亀岡市の小学校に勤務。長岡京市では長三小、長五小、長八小に計13年勤務。

★平成21年度より京都教育大学附属桃山小学校教諭。

★エネルギー環境教育関西ワークショップ、京都教育大学エネルギー教育研究会運営委員としてエネルギー環境教育の教材開発と授業研究に取り組む。

★また、長岡友和館剣道スポーツ少年団館長代行として少年剣道の指導にもあたる。

★著書

『エネルギー環境教育の学習用教材』国土社,2004,共著、

『エネルギー環境教育の実践』国土社,2009,共著

お話の内容

河川レンジャーの柳沼宣裕氏と共同で取り組んだ「勝竜寺の水害学習におけるエネルギー環境教育（H19,20実施）」を中心に、今まで取り組んできた環境教育を紹介します。

環境教育のねらい、アプローチの方法や工夫について話し合えたらと思います。

「持続可能と再生」「シンクオブフューチャーアクトナウ」をキーワードに地域の特徴を生かした環境教育のあり方を探りましょう。



感想をお寄せ下さい

プロジェクトリーダー：西村日出男

Fax：075-952-3718

sun246ra@mbox.kyoto inet.or.jp

20. 柳沼レンジャー活動実施報告・平成21年4月1日～平成22年1月31日

20.1 実施状況

<テーマ:かわみ>

テ ー マ	かわみ		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー	柳沼レンジャー
開催日時	平成21年4月1日(水)～平成22年1月31日(日)		
参加人数	一般参加者 河川レンジャー NPO 行政	140名 1名 40名 20名	柳沼レンジャー
活動概要	4月1日から1月31日の間、適宜実施。		
実施場所	 <p>活動場所：桂川 (桂大橋～ 三川合流点付近) および周辺の支川</p>		

20.2 事前活動

<p>各種資料</p>	 <p>説明(現地普及)資料・配布資料</p>
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>長岡京市総務課危機管理監・環境政策推進監・市民参画協働政策監、土木部・上下水道局・教育委員会、長岡京消防署、緑のセンター、社会福祉協議会等 情報提供、かわみ同行等 向日市防災担当、下水道担当、歴史文化資料館・埋蔵文化センター 情報提供 大山崎歴史資料館 情報提供 京都市河川課、伏見区役所、西京区役所 情報提供 京都府乙訓土木事務所・流域下水道事務所 府行事同行許可、情報提供、各種調整、河川安全普及チラシ提供等 淀川河川事務所 情報提供、各種調整、必要資料の提供 日吉ダム(担当外地区) 情報提供(流域情報) 亀岡市歴史資料館(担当外地区) 情報提供(流域情報) 桂川・小畑川事務組合 情報提供 担当河川各自治会 情報提供、各種調整</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 課題地点・課題情報等の検討、コース図等作成</p> <p>必要物品の準備 配布資料受け取り、返却</p> <p>関係機関との調整 検討・調整</p> <p>活動の実施 聞き取り・説明・発見・撮影</p> <p>記録 資料の作成・蓄積、講演用資料・配布物作成、講演</p>

<p>レンジャーの活動内容</p>	<p><かわみの方法・意味></p> <p>定期的に河川や河川周辺地域を自転車・原動機付き自転車または徒歩などのゆっくりした速度により、河川の状況や河川利用者・地域住民行政担当者の状況を知り、問題点や課題を把握し、今後の対策について検討するための基礎的な情報とする。堤防の状態や大型ゴミなどの比較的緊急度の高い課題については適宜関係機関に連絡し、状況により、協力して対策を検討する。また、通常の問題点に関しては出張所への報告は優先事項とせず、<u>かわみの特長を活かし地域やその場所の持つ社会的な原因を検討・発見し、地域のかたがたとともに解決する方向性を探る</u>。そののち、地域において問題点解決のための普及行事等を実施する。</p> <p>なお、「かわみ」という用語であるが、現在、河川レンジャーの行う対話型の河川巡見(巡見=各地を見て回ること)には適切な用語が存在していない。そのため、今回は便宜的に「かわみ」という言葉を使用する。</p> <p>情報の取り扱いに関する基本的な考え方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 レンジャーが「河川の安全」に関する情報を関係機関等へ連絡することは必要である。しかし、情報内容は治水等に関する河川や自然の形状変化、明確な犯罪行為等のみとする。 2 地域情報(自治会・河川に関わる個人情報)はレンジャー個人の「人間関係や信用」等により収集した情報であり、組織として共有化するのには無理が生じる。地域情報を出張所等に提供した場合、レンジャーは淀川河川事務所ならびに出張所の下部組織または組織の成員と認識され、住民との関係に課題が出る場合がある。
<p>上半期の方向性について</p>	<p>2009 年度より行動域が拡大し、流域全体として河川を見やすく・考えやすくなった。新規追加となった活動範囲域や、情報不足地域に関してはまだ基礎情報の下調べの状態のため、新規範囲での対話や地域住民との関係構築は今後の課題である。</p> <p>本期はゲリラ豪雨の可能性の増化の件や、期の初期に気がついた、各河川ごとの河川利用状況の違いという課題もあり、かわみにおいて本川と担当流域支川との「比較」に重点をおいた。</p> <p>河川利用において同日・同時帯で桂川、西羽束師川、小畑川、犬川、小泉川等の利用者数が全く違うのである。また、ゲリラ豪雨時の河川状態に関しても、小河川ではすぐあふれ課題が発生するが、本川の水量はほとんど変化しないような状況も多々見られた。</p> <p>そのため、今期は河川の状況や流域自体のさまざまな状況が不明のため、担当域(担当流域=旧乙訓郡域)を対象として広い範囲で河川を歩き、基礎的な情報を収集することとした。また、これらの情報は「流域」として、関係機関においてもまとまった形でほとんど収集・集約されていない状況である。</p>
<p>活動状況</p>	<p>今までのかわみ等の成果から、地域住民や自治会から電話等での連絡や紹介や問合せがあり、それが普及行事の実施等に発展している。</p> <p>2009 年後期は 2009 年前期と比較して活動量は非常に減少している。しかし、今までの住民、自治会等との関係性もあり、問い合わせや依頼等、普及関係の対応は様々な形で連絡が来ている。</p> <p>また、行政担当者等とは電話等により打合せは行うことができたものの、「かわみ」としてはあまり活動・訪問できていない。</p> <p>担当外地区等の河川・流域情報に関して、本年度より報告の必要が無くなった。しかし、担当内参加数と同程度の機関等に参加・協力していただいている。</p>

20.3 活動状況(平成 21 年 4 月 1 日(水) ~ 平成 22 年 1 月 31 日(日))



砂防ダム 詳細不明



放置竹林地帯



10 水対策用と見られる堤防 詳細不明



同左



桂川右岸地区 渡しの標識跡



桂川右岸地区 治水関係蹟 江戸末期

20.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>現在、昨年度と同期と比較してかわみ自体に関してはあまり活動できておらず、地域住民との対話が十分になされていない。(他のレンジャーとの比較をしての分析は行っていない)そのため、形に表れない、「課題の種」に関する把握に関しては低下している。その様な状況のため、実際に問題となってしまった後に、地域から課題が出たもののみに対応するという形になっている。</p> <p>住民の方々からは河川・治水の安全、防災・避難、災害情報の入手法、河川親水利用、河川の元(源流)等で質問、意見が寄せられている。なお、詳細はレンジャー日誌に記載。</p> <p>また、レンジャー活動とならなかった件として、小畑川中流部での河川堤防での課題調整の件がある。この件で様々な要望が自治会・地域住民より寄せられている。この件はレンジャー活動として行うことができなくても、地域住民の協働の活動をしている者として、逃げ出すことのできない案件である。今後とも、この件では解決に向けて活動を展開する予定である。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>地域の河川や関連する基本的な情報が少なく、地域団体等向けの講座実施等の場合解説時に用いる資料のデータについてもかわみにより発見したものが多。かわみが無ければ普及行事が実行できない状況である。また、高齢化・経験者の減少等から、現在地域に流域を総合的に語ることの出来る人はいない。</p> <p>河川の堤防の情報だけでは住民は水害の理由を理解できず、堤防わきに住む地域住民に対して「その上流はどうなっているか」という情報や理屈＝「この川や流域のしくみ」の提供と理解促進が必要である。今後ともかわみに関して、河川管理者や流域自治体・機関の協力や流域の情報提供をぜひお願いしたい。</p> <p>近々の課題として、学習指導要綱の修正による教育機関での防災教育の推進開始時期も近いことや、ゲリラ豪雨等の増加、団塊の世代の地域活動・地域理解への参加増進もあり、今後、水や河川、水害関係への要望は増加傾向になると見られる。しかし、現実的に様々にわき起こる要望に対応することは不可能で、対応策の検討が課題となる。</p> <p>また、報告者のレンジャー活動の最終的な方向性として「怖い川とも付き合いながら、きれいになった桂川で泳ぐ」というものである。しかし、本川自体は河川の水質を汚染する要因が少ないため、流入する各支川の水質浄化対策を検討しなければならない。そのためにも基礎情報の収集は必要である。同じことはゴミの件でも言う事が出来る。他のレンジャー主催の桂川クリーン大作戦において、本川と小畑川合流部等に本川に接していない長岡京・向日市民、西京(大枝・大原野)区民が数多く応援に来てくださっている。</p> <p>国内において各直轄河川は一箇所も「源流」を管理しているところは無い。地域の住民が感じている「源流」＝「最初の一滴に対する思い」を肌身で感じている都市部と郡部を見ているレンジャーとしては、今後とも「線の思想」で無く「流域の思想」について発信していきたい。</p> <p>現在、活動の認知度の向上により、地域や行政より講演・行事依頼等が増加しているが、今回集めたような、住民にとって分かりやすく、河川を理解してもらえて親しみやすい情報を今後とも収集し、行事の折に発信していきたい。</p> <p>今期だけではなく、かわみ全体の方向性として、「不特定多数の一般市民に対して川についての一般論を知ってもらう」というものより、「関係する地域(旧村部＝現自治会程度)等で自らと川とのかかわりや危険性を知ってもらうこと」が目的となる。そのため、現在桂川沿岸の地域と実施に関して調整中である。地域＝自治会対象の行事となるため、実施にこぎつけるまで時間がかかっている。今後数年かけても何とか実施し、継続できるよう努力していきたい。</p> <p>なお、本年度より行った内容としては、ゲリラ豪雨対策等の河川利用チラシを活用した河川利用に関する普及であった。これは、2009年2月のレンジャー運営会議において実施について取り上げられた件であるが、京都府においてチラシを作製していただいたため、本年度は多種類のチラシが配布されることを避け、それを用いた。</p>


21. 仁枝レンジャー活動実施報告・平成 21 年 4 月 26 日(日)

21.1 実施状況

<テーマ:川の旅「リバーウォーク桂川」>

テ ー マ	第 3 回川の旅「リバーウォーク桂川」春の桂川をハイキング		
担 当	山崎出張所管内	河川レンジャー 仁枝レンジャー	
開催日時	平成 21 年 4 月 26 日(日) 9:30 ~ 15:30 当初予定 25 日。雨天のため延期		
参加人数	参加総数	35 名	
	一般参加者	29 名	(大人 23 名、小人 6 名)
	河川レンジャー	1 名	仁枝レンジャー
	スタッフ	3 名	
	山崎出張所 運営事務局	1 名 1 名	
スケジュール	<p>9:30 宮前橋左岸側元児童公園広場にてスタッフ集合・受付開始</p> <p>10:00 仁枝レンジャーより開会の挨拶と行程説明や協力団体の紹介、淀納所桂川愛護会田中会長の挨拶と注意事項の説明があった</p> <p>10:15 出発、春の草花や野鳥の囀り、納所や横大路の変わりゆく町並みを眺め、内水排除施設や地域の美化活動など説明を交えて上流へ</p> <p>10:40 横大路在住西野氏より南部クリーンセンター概要、記念碑などの説明あり</p> <p>11:40 羽束師道路高架橋下(小雨のため)にて昼食</p> <p>12:20 出発 右岸を折り返し下流に向かう</p> <p>13:10 羽束師・樋爪の町並み眺め、特に堤防の引堤で水垂・大下津の町が見違えるように変り、国交省・府・市の災害対策について説明</p> <p>13:30 網敷天満宮など災害対策によって移転された新しい町並みを見学</p> <p>13:40 水垂にある伏見水垂収蔵庫到着 水垂、乙訓の遺跡に関する展示物の見学(京都市文化財保護課長谷川氏による説明を受けた)</p> <p>アンケート(お気づきメモ)の記入の提出あり</p> <p>15:00 出発 大下津の町並みを眺める</p> <p>15:10 宮前橋到着 解散</p> <p>15:30 スタッフ解散</p>		
実施場所			

21.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀納所桂川愛護会 スタッフ協力</p> <p>淀川河川事務所 配布資料 必要資料の印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーNews 7・8 ・回覧用チラシ B4, 掲示用ポスター A3 ・配布用チラシ A4 ・当日のハイキングルート図 ・仁枝レンジャー年間活動計画予定表
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容、実施行程の検討及び現地調査 参加の案内 参加案内の作成 配布活動・各自治会への回覧及び掲示板へのポスター掲示 ・町内各種団体へのチラシ配布及び協力団体へのチラシ配布 ・地域の小中学校・高校へのポスター及びチラシ配布 情報掲示・伏見区まちづくり情報掲示板への掲載 ・淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載 必要物品の準備 必要物品リスト作成と各関係機関への貸与依頼 配布資料の作成、各関係機関への資料提供 関係機関との調整 事前打合せ、中間打合せ、完了報告 活動の実施 会場設営、開会準備等 開会、閉会の挨拶 司会進行 説明 参加者との交流</p>

21.3 活動状況



集合 開会の挨拶と行程の説明



宮前橋を上流に向かって出発



桂川の寄り州にて レンジャーより桂川の自然と地域の美化活動を紹介



魚市場の遺跡 横大路在住住民による遺跡の説明



昼食 羽束師橋下にて



春の野草の解説



国交省の河川整備計画、京都府・市の防災対策について現地を見ながら説明



網敷天満宮 災害対策によって移転されてきた新しい町並み



伏見水垂収蔵庫にて展示物の見学



京都市職員による収蔵庫の概要と展示物の説明



展示模型の説明



アンケート(お気づきメモ)の記入



宮前橋より眺める大下津の町並み



終了の挨拶・解散

21.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<p>整備された道路を通り、緑一杯の春の気分を満喫することが出来ました。平城や平安の都は知られても影の薄い長岡京の雰囲気にも触れることができた。横大路、水垂、大下津など大変な様変わりじかに触れることができた。天候は不安でしたが沢山の参加があり良かったです。ガイドの説明がよく楽しく見学できました、特に資料館の内容は素晴らしく勉強になりました。次回の散策は何か一つでも研修テーマを絞り込んで勉強出来ればより楽しくなるのではないのでしょうか。</p> <p>小雨に降られて風が強く寒いウォーク桂川でした。こんな身近に自然にふれて、桂川をなお一層親しさを感じた1日でした。鳥の声、道端の草花、四季夫々毎日変化を楽しみながら歩いていると小鳥、花と一体感を感じます。大勢の人と一緒に歩いて堤防の変化、周辺の人々の協力、昔の水についた時代のこと、先祖渡辺政太郎の手掛けた西羽束師樋門、昔の人々の苦勞を感謝しながら今の私達の生活があるのだと思います。桂川への親近感を思いこれからも桂川を見守り、クリーンにしたいと思います。埋蔵収蔵庫の見学は家のすぐ近くにありながら、あの辺が草っ原の頃はよく散歩していましたが建てられて始めて見せてもらい近くで見られない古い文化財に触れる事が出来考古学の世界も見れました。</p> <p>今回の資料はカラーでとてもわかり易くありがとうございました。</p> <p>ゴミは少しずつ減ってきたのではないのでしょうか?普段は千本通り側を通ることが多いのですが羽束師側はまた一段と自然が一杯でびっくりしました。埋蔵収蔵庫の存在を今回初めて知りびっくりしました。毎日の自分の知ってる街にもこんな歴史を形として知る事が出来て感激です。お天気がもう少し良かったらいいね。</p> <p>天気はもう一つで風強く時々しぐれ、しかし企画は素晴らしく、内容も充実。道中の見識も説明も新鮮な気分自然のすばらしさを再発見、最後の埋蔵収蔵庫見学は、古代を偲ばせるものでした。見ているだけでその時代の様子が目に浮かびました。</p> <p>以上思い付きメモよりの感想です。</p> <p>全体的に・お天気だと更に良かった・近くに住んで居ながら知らなかった・町並みも随分変わった・鳥や草花が多かった・ゴミが少なくなった・説明があつて良かったなどの感想でした。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>トイレの確保</p> <p>家族の参加</p> <p>若者の参加</p>

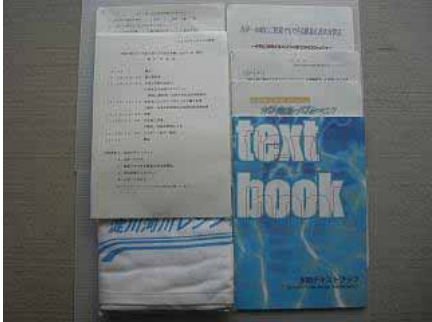
22. 仁枝レンジャー活動実施報告・平成 21 年 5 月 31 日(日)

22.1 実施状況

< テーマ:水防工法に学ぶ防災体験 >

テ ー マ	水防工法に学ぶ防災体験 - 皆さんと一緒に先ずは土のう作り -		
担 当	伏見出張所管内	河川レンジャー 仁枝レンジャー	
開催日時	平成 20 年 5 月 31 日(日) 9:00 ~ 13:00		
参加人数	参加総数	58 名	
	一般参加者 河川レンジャー 講師 協力スタッフ	45 名 1 名(仁枝レンジャー) 1 名(裕永氏) 2 名(納所・向島水防団) 1 名(納所自主防災会) 1 名(納所消防分団) 3 名(淀納所桂川愛護会) 1 名(木津川管内山村レンジャー)	
	河川レンジャー 山崎出張所 運営事務局	1 名 1 名 2 名	
スケジュール	9:00 9:30 10:00 10:25 11:45 12:00 13:00	<p>スタッフ集合・器具の運搬及び設営、準備(ミーティング含)</p> <p>受付開始</p> <p>開会 仁枝レンジャーによる挨拶と各協力者の紹介 裕永防災エキスパート及び水防団による水害と水防についてのお話</p> <p>土のう積み体験開始(裕永氏・水防団員の指導) 土のう作りと積み方の指導、月の輪工の実践</p> <p>仁枝レンジャーよりプランターや新聞を利用した家庭でも出来る水防装置の紹介と実践</p> <p>体験終了、アンケート記入・提出 仁枝レンジャーによるまとめと閉会の挨拶の後、参加者解散 スタッフによる器具の返却及び解体整理並びに後片付け スタッフ解散</p>	
実施場所			

22.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀川左岸水防事務組合 物品貸与(せき板工一式 軽量鋼板使用) 淀川資料館 講師協力 納所向島水防団 スタッフ協力 物品貸与(水防用具) 淀納所桂川愛護会 スタッフ協力 淀川河川事務所 必要資料の提供、印刷 物品貸与(土のう袋、土、鋼製杭)</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容、実施行程の検討及び現地調査</p> <p>参加の案内 参加案内の作成 配布活動・各自治会への回覧及び掲示板へのポスター掲示 ・各種団体へのチラシ配布及び各協力団体へのチラシ配布 ・小中学校・高校及び各協力団体へのチラシ配布 ・伏見区まちづくり情報掲示板への掲載 ・淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載</p> <p>必要物品の準備 必要物品リスト作成と各関係機関への貸与依頼 配布資料の作成、各関係機関への資料提供</p> <p>関係機関との調整 事前打合せ、中間打合せ、完了報告</p> <p>活動の実施 会場設営、開会準備等 開会、閉会の挨拶 司会進行 説明 参加者との交流 閉会後の会場整理等</p>

22.3 活動状況



会場設営の様子



スタッフミーティング



参加者受け付け開始



開会 仁枝レンジャー、裕永氏、水防団員の挨拶



土のう積み体験開始



土のう作りに挑戦する参加者たち



体験の様子



月の輪工の実践



仁枝レンジャーより、家庭で出来る水防装置の紹介



身近にあるものを用いた水防装置作りの実践



閉会の挨拶

22.4 意見・課題

<p>参加者からの 意見</p>	<p>幸い自分が生まれてから今日まで水による苦勞はなかったのですが、だからこそ、今後に向けてこのような体験は必要だと思えます。</p> <p>50 年位前は水防団まかせであった。各人意欲を持って防災に協力する方向付けは大切なことで輪が広がることを望みます。</p> <p>土のう作りの土をどこから用意するか、地域によって心配です。</p> <p>説明が論理的で非常に理解しやすかった。水防に対して日頃から皆で感心を持つことが必要であると思えます。また、桂川には大きな木が多く見られのが、あれは水害対策にどんな関係があるのか?あれらの多くの木々は必要なのか?私は、川は鴨川のような木々のないのが川ではないかと思っていますがどうですか?川とは考えられないし、川と思えない。川の整備が必要でないでしょうか。</p> <p>若い人の参加を増やす工夫が必要です。</p> <p>台風時の水害が増加しているの老人が多い町内でもできるような防災を知りたい。</p> <p>最近の川は上から見下ろすばかりで水に触れる場所が少ないので身近に感じられなくなった様に思えます。いつでも川辺に行ける所が多かったらいいなと思います。</p> <p>日頃感じていること、今回のお気付きメモの中より抜粋</p> <p>全般的に災害がない昨今、危機意識が薄れているのでいい体験ができたとの事でした。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>昨年同様、若い人並びに中高年齢の参加が少なくこの年齢層への PR 対策</p> <p>国や地方庁等の携帯やパソコン、デジタル放送等による河川水位・雨量情報等の住民への利用方法の啓蒙。</p>


23. 仁枝レンジャー活動実施報告・平成 21 年 10 月 11 日(日)

23.1 実施状況

<テーマ:> 川と人・水と暮らしの関わりに学ぶ

テ ー マ	私たちの川を見る・知る・考える マイ・リバー・ウォーク Part1 in 淀		
担 当	桂川出張所管内	河川レンジャー	仁枝レンジャー
開催日時	平成 21 年 10 月 11 日(日)10:00 ~ 16:00		
参加人数	参加総数	43 名	
	一般参加者	34 名	(内子供 7 名)
	講師 協力スタッフ	1 名 5 名	淀連合自治会副会長長尾 博氏 淀納所桂川愛護会・淀緑地公園下津会 淀緑地公園新町会
	山崎・伏見出張所長	2 名	
	運営事務局	1 名	
講 師	長尾 博氏	(淀木津町在住)「淀の今むかし」	
スケジュール	<p>9:00 ・スタッフ集合・会場設営・展示物準備(淀会館)</p> <p>9:30 ・開始前スタッフミーティング</p> <p>10:00 ・河川資料及びパネル展示(閉会まで展示)</p> <p>11:00 ・開会式(仁枝レンジャー挨拶)</p> <p>・太田稔淀連合自治会長・中川一雄横大路連合自治協議会長挨拶</p> <p>11:15 ・語り「淀の今むかし」長尾 博氏講演</p> <p>12:00 ・昼休み(参加者交流)</p> <p>12:45 ・リバーウォークに出発</p> <p>15:45 ・ワークショップ・感想発表会</p> <p>16:05 ・仁枝レンジャーまとめ</p> <p>16:15 ・アンケート提出・閉会</p> <p>18:00 ・展示物搬出・会場整理</p>		
実施場所	<p style="text-align: center;">淀地区リバーウォーク散策コース</p> <p>(ウォーキングコース) 宇治川～淀水路～桂川～淀城</p>		

23.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀連合自治会 物品貸与(長机、パイプ椅子) スタッフ協力 淀の淡水魚展示 淀納所桂川愛護会 スタッフ協力 淀川資料館 河川資料及びパネル貸与 河川資料提供 淀川河川事務所 必要資料の印刷 物品貸与</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容、実施行程の検討及び現地調査 参加の案内 参加案内の作成 配布活動・各自治会への回覧及び掲示板へのポスター掲示 ・各種団体へのチラシ配布及び各協力団体へのチラシ配布 ・小中学校・高校及び各協力団体へのチラシ配布 ・伏見区まちづくり情報掲示板への掲載 ・淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載</p> <p>必要物品の準備 必要物品リスト作成と各関係機関への貸与依頼 配布資料の作成、各関係機関への資料提供 関係機関との調整 事前打合せ、中間打合せ、完了報告 活動の実施 会場設営、開会準備等 開会、閉会の挨拶 司会進行 説明および参加者との交流</p>

23.3 活動状況



・ 展示物風景



・ 会場受付風景



・ 参加者風景



・ 仁枝レンジャー挨拶



・ レンジャーと自治連合会長のみなさん



・ 長尾氏による「淀の今昔」講演



・ マイリパーウォーク出発



・ 明和小学校校内渡し



・淀競馬場排水路公園



・淀競馬場排水路でのビオトープ計画地



・桂川左岸堤防2km付近で桂川を眺める



・ワークショップの様子



・ワークショップの様子



・ワークショップ発表の様子



・参加者集合写真

23.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・淡水魚類陳列があったが大きな水槽で泳ぐ設備があったら素晴らしいと思う(77歳男性) ・淀水路にホタルが棲めるよう希望いたします。それには水路の清掃を定期的にしてほしい、住民も協力したらいいと思います(70歳女性) ・淀の今昔を知り、歴史的にも川が中心に開けてきたことが解った。下津会で淀水路周辺を美しくしていきたい(71歳女性) ・近くにいながら淀水路周辺を全部歩いたのは今回がはじめてでした。思ったより綺麗に整備されていて、地元で頑張っておられる団体の方には頭が下がります。納所にも淀水路のような公園がほしいと思いました(59歳男性) ・淀水路の水の量が雨や台風のあとで多く、もう少し水が少なめの時に観察出来たら良かったと思います。緑地公園にはバッタやカマキリ、赤とんぼなど秋の昆虫が見られて良かった。今日はタバコの吸いガラやビニール袋等のゴミが少なかった。マナーを守るように子供たちに伝えていきたい(37歳女性) ・展示品が多く参考になった。また自治会が中心になって地元行事としてやったら・・・(67歳男性) ・宮前橋下流にボートなどで遊べる公園施設を作っていただきたい(男性) ・淀水路に1~2年前に子供と散歩に出掛けて魚が沢山いたり、緑の豊かさに感心しました。本日は環境の活動をされている方がおられて、日々の活動の苦労話などをお聞かせ下さいました。ホタルのいる環境作りを目指しておられるとのこと、日本らしいホタルのいる夜なんてとても素敵ですね、これからも頑張りたいのと納所にもそんなホタルの棲む環境があると素敵だと思います(女性)
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どこの地域でもそうですが若者の参加が少ない、若い年齢層へPR方法。


24. 仁枝レンジャー活動実施報告・平成 21 年 10 月 17 日(土)

24.1 実施状況

<テーマ:私たちの川を見る・知る・考える「マイ・リバー・ウォーク」part3 in 横大路>

テ ー マ	私たちの川を見る・知る・考える マイ・リバー・ウォーク part3 in 横大路		
担 当	山崎出張所管内	河川レンジャー仁枝レンジャー	
開催日時	平成 20 年 10 月 17 日(土)9:00~16:00		
参加人数	参加総数	68 名	
	一般参加者 協力スタッフ 運営事務局	61 名 5 名 2 名	淀納所桂川愛護会
講師	西野 氏 (地域住民・環境整備対策委員会)		
スケジュール	9:00	スタッフ集合・会場設営・展示物準備(横大路会館)	
	9:30	開始前スタッフミーティング 受け付け開始	
	10:00	河川資料及びパネル展示(閉会まで)	
	11:00	開会 仁枝レンジャーより挨拶 スタッフ、講師の紹介 活動の説明、河川レンジャーについての説明	
	11:15	講演「横大路の今むかし」(環境整備対策委員会 西野氏) 参加者より質疑応答	
	12:10	昼食(参加者交流)	
	12:50	リバーウォーク出発 横大路会館前に集合 行程の説明、火ばさみ、ゴミ袋、手袋の配布 横大路の町並み、桂川堤防、羽束師橋、農道、府道沿い、飛鳥田神社をクリーンアップしながらウォーキング(解説:西野氏)	
	14:45	ウォーキング終了 横大路会館到着 感想の記入	
	15:00	5つのグループに分かれてワークショップ開始 景観、ゴミ、生き物等の観点から話し合い、マイ・リバー・ウォークマップを作成	
	15:45	グループ毎に発表 仁枝レンジャーよりまとめ	
	16:15	閉会の挨拶 集合写真撮影 参加者解散 スタッフ後片付け	
	18:00	終了後、スタッフ解散	
実施場所 京都市伏見区横大路			

24.2 事前活動

<p>各種資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>横大路連合自治協議会 物品貸与 スタッフ協力 淀納所桂川愛護会 スタッフ協力 淀川資料館 河川資料及びパネル貸与 河川資料提供 淀川河川事務所 必要資料の印刷 物品貸与</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容、実施行程の検討及び現地調査 参加の案内 参加案内の作成 配布活動・各自治会への回覧及び掲示板へのポスター掲示 ・各種団体へのチラシ配布及び各協力団体へのチラシ配布 ・小中学校・高校及び各協力団体へのチラシ配布 ・伏見区まちづくり情報掲示板への掲載 ・淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載 必要物品の準備 必要物品リスト作成と各関係機関への貸与依頼 配布資料の作成、各関係機関への資料提供 関係機関との調整 事前打合せ、中間打合せ、完了報告 活動の実施 会場設営、開会準備等 開会、閉会の挨拶 司会進行 説明 参加者との交流</p>

24.3 活動状況



会場にパネル、閲覧用の資料等を設置



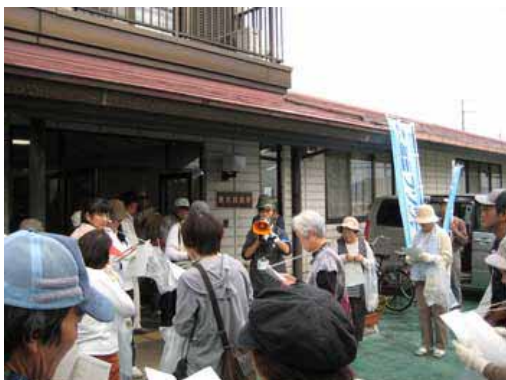
スタッフミーティング



開会 仁枝レンジャー挨拶



環境整備対策委員会西野氏による講演
「横大路の今むかし」



リバーウォーク出発 会館前にてコースの説明と諸注意



西野氏の解説をまじえて横大路の町並みをウォーキング



桂川河川敷より対岸の景色を望む



参加者によるクリーンアップ活動



飛鳥田神社見学 台風による大きな被害を受けた



この日集まったゴミ



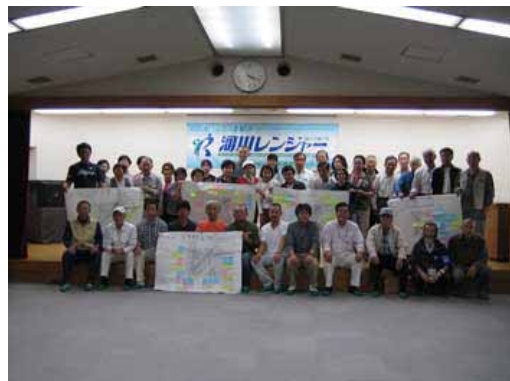
グループに分かれて横大路の町について話し合うワークショップの実施



地図に付せんを貼ってグループ毎にマイ・リバー・ウォークマップを作成



話し合いの結果を発表



集合写真



後片付けの様子

24.4 意見・課題

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・橋の下をもう少し整備して休憩しやすい設備を設けてほしい(59 歳男性) ・犬のフンが多かった。不法投棄があつた。(37 歳男性) ・今回初めて参加した。マイ・リバー・ウォークが実施されていることを知らなかった。今後は継続して参加しようと思う。横大路の歴史を知り、みんなで共有する。また地域全体で守り、伝えていく事の大切さを感じた。地元住民だけでなく、企業や行政が一体となって活動していくことが必要である(57 歳男性) ・桂川の堤防に来ると、川の景色、山並みの美しさにいつもいい所だなと感じています。今日は大勢の方と歩いてとても楽しかったです。この美しい所を皆が心掛けてゴミを捨てないようにしてほしいと思います。そして、横大路の昔、今として歴史を学べて良かったです。歴史深き横大路をもっと大切にしていきたいと思います(69 歳女性) ・犬のフンが多く目につく、飼い主は始末をして欲しい。残念石の標しきがあれば良いのでは(73 歳女性) ・昨年に続き参加させていただきましたが少しはましになったかと思っていましたが汚い所ときれいな所の差があり、汚い所は一層汚れ、ゴミはゴミを呼ぶのだと思います。大きなゴミや取りきれないゴミは後、行政が処分してくれるのでしょうか？飛鳥田神社の話では、地域に住む者として少しでも修復や復興に役にたつよう協力できればと思います。桂川草津港フェスティバルにおいても町づくりとして協力したいと思います(59 歳女性) ・我が町をウォーク、これだけの時間を歩いたのは初めてであった。地域の歴史について、もつと知りたいものである。飛鳥田神社へは何十年ぶりであったか、あまりのかわり様であら！川原を整備してみんなが楽しく過ごせる場所があればと思う(60 歳男性)
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学区毎の愛護会の結成と横断的な速 活動 ・地域が一体となった活動(住民、企業、行政) ・河川敷を美しく利用する方法を教えてほしい ・自然公園を設けてほしい ・トイレを設置してほしい


25. 仁枝レンジャー活動実施報告・平成 21 年 11 月 7 日(土)

25.1 実施状況

<テーマ:>

テ ー マ	私たちの川を見る・知る・考える マイ・リバー・ウォーク Part4 in 納所		
担 当	山崎出張所管内	河川レンジャー仁枝レンジャー	
開催日時	平成 21 年 11 月 7 日(土)10:00～16:00		
参加人数	参加総数	50 名	
	一般参加者	38 名	
	河川レンジャー	2 名	仁枝、柳沼両レンジャー
	講師	1 名	元三番町在住 小林春海氏
	スタッフ	7 名	淀納所桂川愛護会 3 名、乙訓桂川愛護会 1 名、桂川流域ネットワーク 1 名、一般 2 名
	事務所	1 名	小俣所長
	運営事務局	1 名	
講 師	小林春海氏	(元 3 番町在住)	
スケジュール	9:00	スタッフ集合・会場設営・展示物準備(納所ふれあいプラザ)	
	9:13	納所小学校全景と旗揚げ	
	9:30	開始前スタッフミーティング	
		受付開始	
	10:52	教室会場のようす	
	9:33	レンジャー応募者 2 名の活動体験	
	10:04	開始のスタッフミーティング	
	10:46	会場受付のようす	
	10:47	掲示資料の見学者	
	11:00	レンジャー開会のあいさつ	
	11:03	開会あいさつのメンバー	
	11:18	納所の今むかし・小林講師	
	12:59	リバーウォーク出発	
	13:29	桂川北城堀地先河川敷での集合写真	
	13:36	桂川河川敷オニグルミの説明	
	13:38	桂川河川敷カジノキの赤い実	
	14:08	伏見納所団地脇水路の不法投棄ゴミの確認	
	15:29	グループ別ワークショップのようす	
	15:46	成果発表・仁枝レンジャーまとめ	
	16:10	閉会の挨拶	
	18:00	展示物搬出・会場整理	
実施場所	 <p>The map shows a walking course (ウォーキングコース) in Nago, Hyogo. The route starts at the Nago Elementary School (納所小学校) and Nago Fureai Salon (納所ふれあいサロン) in the school grounds. It then proceeds to the riverbank (桂川河川敷) near the Kaminohori (北城堀地) area. The course follows the riverbank, passing through the Onigumi (オニグルミ) and Kakinoki (カジノキ) areas, and ends back at the school grounds. The map also shows the surrounding area, including the Nago River (桂川), Nago West Expressway (横大路西海路), and various local businesses and landmarks.</p>		

25.2 事前活動

<p>各種資料 左:持ち帰り資料 右:配布資料</p>	
<p>関係機関からの支援内容</p>	<p>淀納所桂川愛護会 スタッフ協力</p> <p>淀川資料館 河川資料及びパネル貸与 河川資料提供</p> <p>桂川流域ネットワーク スタッフ協力</p> <p>淀川河川事務所 必要資料の印刷 物品貸与</p>
<p>レンジャーの活動内容</p>	<p>実施計画の立案 実施日、実施内容、実施行程の検討及び現地調査</p> <p>参加の案内 参加案内の作成 配布活動・各自治会への回覧及び掲示板へのポスター掲示 <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体へのチラシ配布及び各協力団体へのチラシ配布 ・小中学校・高校及び各協力団体へのチラシ配布 ・伏見区まちづくり情報掲示板への掲載 ・淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載 </p> <p>必要物品の準備 必要物品リスト作成と各関係機関への貸与依頼 配布資料の作成、各関係機関への資料提供</p> <p>関係機関との調整 事前打合せ、中間打合せ、完了報告</p> <p>活動の実施 会場設営、開会準備等 開会、閉会の挨拶 司会進行 説明 参加者との交流</p>

25.3 活動状況



9:13 納所小学校全景と旗揚げ



10:52 教室会場のようす



9:33 レンジャー応募者2名の活動体験



10:04 開始のスタッフミーティング



10:46 会場受付のようす



10:47 掲示資料の見学者



11:00 レンジャー開会のあいさつ



11:03 開会あいさつのメンバー



11:18 納所の今むかし・小林講師



12:59 リバーウォーク出発



13:29 桂川北城堀地先河川敷での集合写真



13:36 桂川河川敷オニグルミの説明



13:38 桂川河川敷カジノ木の赤い実



14:08 伏見納所団地脇水路の不法投棄ゴミの確認



15:29 グループ別ワークショップのようす



15:46 成果発表後閉会

25.4 意見・課題

参加者からの意見	<p>晴天の中、一緒に歩きながら、草花や歴史をたくさん聞けて楽しいリバーウォークでした(35歳女性)</p> <p>納所地域のことについて事情を知る良い機会となりました。皆さん川に対して思い入れがあり、自分ももつと川のこと(周りの環境も含めて)を知りたいと思いました。会場設営を含め、事前の準備をいろいろありがとうございました。また参加したいと思いました(31歳女性)</p> <p>初めて参加したのであまりよく分らないですが、河川レンジャーというボランティアの人たちが頑張っていることを知っただけでも良かったと思います(70歳女性)</p> <p>川に樹木が繁茂しすぎ、川がよく見えない(77歳男性)</p>
今後の課題	<p>中間年齢層(20第～40代)参加が少ない。</p> <p>今回当地域の河川敷に珍樹「カジノ木」が見つかった。この木は樹皮を和紙の原料にするため、古くから栽培され、日本では平安時代から記録があり、七夕の時には葉の裏に文字を書いたと言われる。この木を守り、育て、実際に和紙を採取する活動を実施したいと考えている。</p>